

MITSUBISHI

三菱PHS端末 YN20-5000NV

取扱説明書



このたびは、三菱PHS端末をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

はじめに

1 お使いになる前に

2 基本的な操作

3 電話帳を使う

4 PBXの機能を利用する

5 より便利に使う

6 メンテナンス

このたびは、「YN20-5000NV」をご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、「はじめに」、「基本操作編」、「活用編」、
「メンテナンス」の4部構成になっております。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、
この取扱説明書をよくお読みいただき、
YN20-5000NVを正しく、
効果的にお使いいただきますようお願いいたします。

YN20-5000NVは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

ご使用にあたって

- 本電話機は無線を利用しているため、接続装置から遠く電波の弱い場所、電波の届かない場所、およびサービスエリア外ではご使用になれません。なお電波が強くとアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- 本電話機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合は、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。
- 本電話機は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本電話機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作、電池パックの消耗、または、停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置に使用しております「二次電池」に関しましては、省資源・資源循環を目的とした【資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)】により回収・再資源化が義務付けられております。
- 本電話機は日本国外ではご使用になれません。
YN20-5000NV is exclusively for use in Japan.

本電話機をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

この「YN20-5000NV取扱説明書」の本文中においては、「YN20-5000NV」を「本電話機」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意







●必ずお守りください●

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。




ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

本書中のマーク説明

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。
 重要	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示します。
 ワンポイント	知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス等の補足説明を示します。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この絵表示は、してはいけない、「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく、「強制」内容です。
	この絵表示は、プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容です。

「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本電話機、電池パック、充電器の取り扱いについて(共通)..... 4
2. 本電話機の取り扱いについて..... 5
3. 電池パックの取り扱いについて..... 7
4. 充電器およびACアダプタの取り扱いについて..... 9

1. 本電話機、電池パック、充電器の取り扱いについて(共通)

危険



- 本電話機に使用する機器は当社が指定したものを使用してください。
 - ・ 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告



- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - ・ 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



- 引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
 - ・ プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



- 電子レンジや高圧容器に、電池パック、本電話機や充電器を入れないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、本電話機、充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意



- 湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。
 - ・ 故障の原因となります。



- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
 - ・ けがなどの原因となります。



- 直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。









- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
 - ・ 落下して、けがや故障の原因となります。



- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
 - ・ けがなどの原因となります。

2. 本電話機の取り扱いについて

警告

- | | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">● 自動車等を運転中に使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところで停車させてからご使用ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 分解、改造をしないでください。<ul style="list-style-type: none">・火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。<ul style="list-style-type: none">・本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。<ul style="list-style-type: none">・電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。<p><ご注意ください電子機器の例></p><ul style="list-style-type: none">・補聴器、ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。・ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。<ul style="list-style-type: none">・電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。・医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。 |

2. 本電話機の取り扱いについて(つづき)

注意



- 自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。
 - ・ 安全走行を損なう原因となります。



- 磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。
 - ・ 磁気データが消えてしまうことがあります。
 - ・ フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものを本電話機に近づけないでください。



- スポンやスカートの後ろのポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。
 - ・ 故障の原因となります。



- 本電話機を濡らさないでください。
 - ・ 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



- 通話中は充電しないでください。
 - ・ 低温やけどする原因となります。



- 鞆の底など無理な力がかかるような場所には、本電話機を入れないでください。
 - ・ 故障の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

 **危険**



- 電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックをご使用の際は、次のことは絶対にしないでください。
 - 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
 - ・ 火の中に投下しないでください。
 - ・ 直接ハンダ付けしないでください。
 - ・ 電池パックの端子を針金などの金属類で接続しないでください。
 - また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
 - ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり踏みつけたりしないでください。
 - ・ 外装ケース(被覆)をはがしたり、傷をつけないでください。



- 分解、改造をしないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックは、プラス(+)**・**マイナス(-)の向きが決められています。本電話機に接続するときはプラス・マイナスの向きを確かめてください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
 - ・ 失明などの原因となります。



- 電池パックは本電話機にのみ使用してください。
 - ・ 電池パックを指定以外の電源に使用すると、漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



3. 電池パックの取り扱いについて(つづき)

警告



- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックの使用、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いまままでと異なるときは、本電話機から取りはずし、使用しないで販売店へお問い合わせください。
・ そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
・ 皮膚に傷害をおこす原因となります。



- 電池パックが漏液したり異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
・ 漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意
















- 水やペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。
・ 電池パックを発熱、発煙させたり、サビの原因となります。



- 「二次電池」には希少金属が用いられております。電池交換等対象電池が不要となった場合の処理方法を下記に示しますのでご協力ください。
・ 電池不要時の処理方法
(1) この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
(2) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
(3) 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、最寄の販売店窓口等にご持参頂くか、販売担当の者にお渡しください。

4. 充電器およびACアダプタの取り扱いについて

警告

	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタは必ずAC100Vを使用してください。 ・ 誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタ、電源コードが傷んだら使用しないでください。 ・ 感電、発煙、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 分解、改造をしないでください。 ・ 感電、火災、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 充電器を濡らさないでください。 ・ 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 濡れた手で充電器ACアダプタ、電源コードやコンセントに触れないでください。 ・ 感電の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none">● 万一水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。 ・ 感電や発煙、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタについたほこりは拭き取ってください。 ・ 火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。 また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れないでください。 ・ 火災、故障、感電、傷害の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタや充電器は、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。 ・ 感電の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none">● 充電器は、指定のACアダプタを使用して本電話機と電池パックの充電にのみ使用してください。 ・ 指定以外のACアダプタを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタは、この電話機および指定の電池パックの専用品です。他の製品、用途では使用しないでください。

4. 充電器およびACアダプタの取り扱いについて(つづき)

警告



- 充電台にコイン、クリップなどの金属類を置かないでください。
・ 金属類が発熱し、やけどの原因となります。



注意



- ACアダプタ、電源コードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。
・ 感電や火災の原因となります。



- 充電終了後は、コンセントからACアダプタのプラグを抜いてください。
・ 火災、故障の原因となります。



- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
・ コードを引っ張ると、コードが傷つき、感電や火災の原因となります。



- 充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
・ 電話機がはずれたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。



- 清掃する際には、必ずコンセントからACアダプタのプラグを抜いてください。
・ 感電の原因となります。

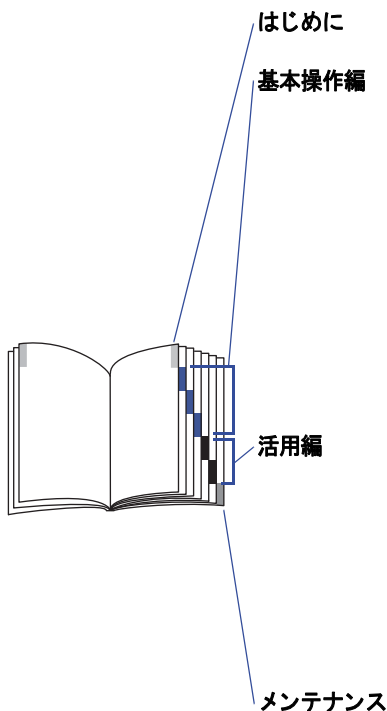


取扱説明書の見方

● 取扱説明書の構成

はじめに

取扱説明書の見方



本電話機を使用するときに注意していただきたいことなどを説明しています。

単純に電話をかけたり、受けたりするまでの基本的な操作について説明しています。

1. お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2. 基本的な操作

電話をかけたり、受けたり、という基本的な操作と文字入力など使用頻度の高い機能を説明しています。

3. 電話帳を使う

電話帳を登録したり、電話帳を利用して電話をかける操作について説明しています。

本電話機をより活用していただくための機能や高度な使い方について説明しています。

4. PBXの機能を利用する

ソフトキーやPBXのローミング機能を利用する方法を説明しています。






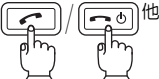
5. より便利に使う

本電話機で利用できる便利な機能や、使い勝手をよくする設定操作について説明しています。

6. メンテナンス

故障かな?と思ったときの確認方法や仕様などを説明しています。

●ボタンの表記

	機能キーの中央を押すマークです。ソフトキーやメニューなどで選択している機能を表示確定するとき、設定を実行するときなどに押します。
	機能キーを上下左右に押すマークです。ソフトキーやメインメニューを選択するときなどに押します。
	選択ボタンを押すマークです。表示されているソフトキーを実行するときなどに押します。
	ソフトキー切替ボタンを押すマークです。ソフトキーの表示を切り替えるときに押します。
	ダイヤルボタンを使って数字や文字を入力するマークです。電話をかけたり、電話帳の名前などを入力するときなどに使います。
	そのマークのボタンを押すマークです。それぞれボタン上に機能がついています。

●操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス等の補足説明を示します。

STOP

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

重要

この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示します。

機能メニューのマーク
モードのマーク

公衆モードで使用しているときのみ利用できる機能です。



事業所コードレスシステムモードで使用しているときのみ利用できる機能です。

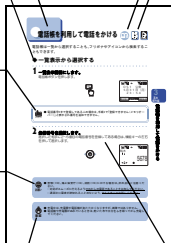


トランシーバーモードで使用しているときのみ利用できる機能です。

* マークのないところは、すべてのモードで共通に利用できる機能です。

操作手順説明

順番に操作を説明します。



目次

はじめに

はじめに

安全上のご注意	3
1. 本電話機、電池パック、充電器 の取り扱いについて (共通).....	4
2. 本電話機の取り扱いについて.....	5
3. 電池パックの取り扱いについて.....	7
4. 充電器およびACアダプタの 取り扱いについて.....	9
取り扱い上のお願い	11
取扱説明書の見方	12

基本操作編

1 お使いになる前に

特長.....	20
セットの確認.....	22
各部の名称.....	23
電話機.....	23
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	24
準備.....	28
電池パックをセットする・ 交換する.....	28
電池パックの寿命	30
電池の使用時間の目安.....	31
電話機/電池パックを充電する.....	32
電源を入れる	35
電池残量を確認する.....	36
自局番号を確認する.....	37
発信時に自局番号を通知する	39
時計を設定する	41

2 基本的な操作

モードとは.....	44
使い方とモード.....	45
モードを切り替えるには.....	46
オフィスで内線電話として 使う.....	49
事業所コードレスシステムモードで できること.....	49
外線発信番号を登録する.....	51
電話をかける.....	53
まず確認してください.....	53
電話をかける.....	54
外線電話をかける.....	56
電話を受ける.....	57
相手の方に待っていただくには (保留).....	59
電話を取り次ぐには (保留転送).....	60
かけ直すには.....	61
かけ直す.....	61
着信/発信履歴を利用する.....	62
受話音量を変える.....	65
通話中に変える.....	65
待受時に変える.....	66
着信音を変える.....	67
メロディを変える.....	67
音量を変える.....	69
マナーモードにする.....	71
バイブレータ着信に設定する.....	72

文字の入力操作.....	74
入力モードの切り替え.....	74
漢字・ひらがな入力.....	76
カタカナ・英字入力.....	79
文字の削除.....	80
文字の挿入.....	81

1
基本
操作編

2
基本
操作編

基本操作編(つづき)

3 電話帳を使う

電話帳を登録する	84
新規登録する	84
コピーして登録する	88
電話帳を利用して電話をかける	90
一覧表示から選択する	90
フリガナで検索する	92
アイコンで検索する	94
電話帳を修正する	96
名前を変更する	96
電話番号を追加する	97
電話番号を変更する	98
電話帳を削除する	99
1つの電話番号のみ削除する	100
電話帳を全削除する	101

活用編

4 PBXの機能を利用する

PBX機能でできること	104
ソフトキーとは	104
PBX機能を設定する (ソフトキー)	106
有効になっている機能を確認する ..	106
PBX間のローミング機能を利用する	108

5 より便利に使う

こんな機能があります	110
暗証番号を利用する	112
暗証番号を利用する場面	112
暗証番号を設定・変更する	112
音/バイブレータ機能	114
マナーモードの状態を切り替える ..	114
キータッチトーン	116
エコーキーアンサ	117
電話帳機能	118
電話帳の表示を切り替える	118
電話帳をロックする	119
時間表示機能	120
通話中の通話時間表示をする	120
通話時間・積算時間を確認する	121
時計機能	122
スケジュールを登録する	122
スケジュールを確認する	124
スケジュールを編集する	126
時計表示を変更する	128
留守録/音声メモ機能	129
留守録/ドライブをONにする	129
音声メモを録音する	132
留守録/音声メモを消去する	134

その他の機能	136
液晶の表示濃度を調整する	136
設定をリセットする	137
サブアドレスで電話をかける	138
電話帳を転送する	141
Fキー設定	143
クイック機能	150
エコサプレス	151
ハンドオーバ通知音を設定する	152
登録内容をリセットする	153
ボタン操作の機能	154
キーロック	154
パスワードロック	155
発信番号付加機能	156
トランシーバとして使う	157
トランシーバモードでできること ..	157
トランシーバ登録する	158

3
基本
操作編

4
活用
編

5
活用
編

6 メンテナンス

メニュー機能一覧	162
オプション	165
オプション紹介	165
故障かな?と思ったら	166
索引	170
仕様	173
本体	173
充電器	173
ACアダプタ	173
アフターサービスについて	174
保証について	174
アフターサービスについて	174

1

お使いになる前に

特長.....	20
セットの確認.....	22
各部の名称.....	23
電話機.....	23
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	24
準備.....	28
電池パックをセットする・ 交換する.....	28
電池パックの寿命.....	30
電池の使用時間の目安.....	31
電話機/電池パックを充電する.....	32
電源を入れる.....	35
電池残量を確認する.....	36
自局番号を確認する.....	37
発信時に自局番号を通知する.....	39
時計を設定する.....	41

特長

お使いになる前に

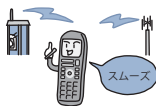
事業所コードレスシステムモード

事業所コードレスシステム機器に接続すれば携帯型の内線電話機としてお使い頂けます。会社内で持ち歩けば、内線通話や外線通話がいつでもどこでもつながります。なかなか自分の席に戻れない人に最適です。(→P49)



移動中でも途切れにくい

移動時などは条件のよいアンテナを通話中に検索することによって、アンテナ切替えの時間が短くなりました。
※ 電波状態によっては通話が途切れる場合があります。



漢字対応

電話帳に登録する名前を漢字やひらがなで作成できます。



最大300件の電話帳

最大300件の電話帳を登録できます。また、1人につき、5箇所までの電話番号を登録できます。(→P84)



スケジュール機能で時間管理

スケジュールを登録。もちろん、予定時刻にアラームを鳴らすこともできるので、時間管理にも威力を発揮します。(→P122)



「混み合っています」表示

発信時に近くのアンテナの回線がすべて使用中でつながらないとき、「混み合っています」と表示します。意味も無くつながらないというイライラがありません。
※ 事業所コードレスシステムでご利用の場合のみ表示します。



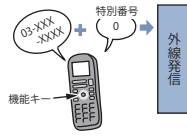
PHSサービス

PHS(簡易型携帯電話)サービスに加入されると、本電話機を外に持ち出して利用することができます。
※ 必ず PHS サービスへの加入が必要です。(→P44)



発信番号付加

発信する際、機能キーを押すことで、表示している電話番号の先頭に外線発信用の「0」などの特別番号を組み合わせることで発信することができます。(→P156)



1 基本操作編
特長

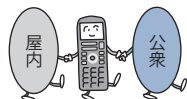
接続先変更

屋内/公衆デュアルモードで発信する際、モードキーを押すことで、接続先のモードを簡単に変更することができます。(→P47)



同時に2つのモードの待ち受けが可能 (デュアルモード)

2つのモードで待ち受けすることができ、どちらのモードでも電波が届いていれば受信可能です。この電話機1つで内線電話機としてもPHS(簡易型携帯電話)としてもお使い頂けます。(→P45)



ソフトキー

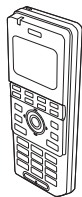
利用できるPBX機能などをソフトキーで表示。選択するだけで機能を実行する簡単操作です。(→P104)



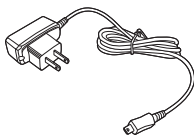
セットの確認

お
使
い
に
な
る
前
に

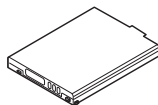
はじめに、セット内容を確認してください。
セットに足りないものがあつた場合は、販売店等へご連絡ください。



電話機×1



ACアダプタ×1



電池パック×1

1
基本
操作編

セ
ツ
ト
の
確
認

各部の名称

◆ 電話機

前面

着信/充電ランプ(→P24)

機能キー

上下左右を押すと機能メニューを選択します。
左右を押すとソフトキーの項目を選択します。
中央を押すと表示中の項目の確定や機能を実行します。

選択ボタン

ソフトキーを選択するときに使います。

フレキシブルキー (Fキー)

任意に設定したダイヤル情報で発信するときに使います。

保留/モードボタン

通話を保留にするときや、事業所コードレスシステムモードで転送をするときに使います。
モード切り替えメニューをワンタッチで表示するときにも使います。

メモ/文字ボタン

通話録音やボイスメモを再生するときに使います。
文字入力モードを切り替えるときにも使います。

通話ボタン

電話をかけたり受けたりします。

留守録/ドライブボタン

留守録/ドライブを有効にしたり、解除するときに使います。

受話口

液晶ディスプレイ(→P24)

ソフトキー切替ボタン

ソフトキーの表示を切り替えるときに使います。

履歴/クリアボタン

リダイヤルや着信履歴の番号を表示します。ディスプレイの文字を消すときにも利用します。
直前の画面に戻る時に使います。

電話帳ボタン

電話帳を表示します。

電源/切ボタン

電源の入/切や、電話を切るとき、操作を中止するときなどに使います。

ダイヤルボタン

電話番号をダイヤルしたり、文字を入力します。

マナーボタン

マナーモードを有効にしたり解除するときに使います。

送話口(マイク)



背面 / 側面 / 底面

アラーム口

着信音、警告音などの音が鳴ります。

ハンドストラップ取り付け穴

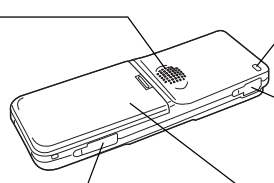
USB端子

ACアダプタやUSBケーブルを差し込んで利用します。

イヤホンマイク差込口

イヤホンマイク(別売)を差し込んで利用します。

電池カバー(→P28)

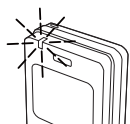


1 基本操作編

各部の名称

ランプ表示

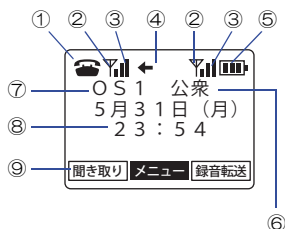
着信/充電ランプ



ランプ	ランプのつき方	電話機の状態
着信時	点滅(緑)	電話がかかってきたとき
充電時	点灯(赤)	充電中のとき
	点灯(赤→消灯)	充電がほぼ終了したとき
	点滅(赤)	電池や充電端子が異常のため、充電できないとき。通話しながら長時間充電したとき

◆ 液晶ディスプレイの見方(ソフトキー、アイコン)

～こんなときに表示されます～



①		切断中 または接続中 を示す
②	〒(圏内)	電波が届いている場所にいるとき(→P53)
③		受けている電波の強さ
④		発信時の優先接続先を指す(→P45)
⑤		電池残量(→P36)
⑥	公衆	公衆モードのとき(→P44)
⑦	OS1、TRSなど	事業所コードレスシステムモード、トランシーバモードのとき(→P44)
⑧	その他の表示部分	選択中の機能などの状態によりアイコンが表示される
⑨	ソフトキー	事業所コードレスシステムモードで利用できる機能が表示され選択できる

～ソフトキー～

OS(事業所コードレスシステムモード)で利用できる機能が表示されます。機能キーを上下左右に押して機能を選択します。

表示されるメニューは、登録しているPBXの機種や待受時/通話中などの条件によって異なります。

画面の一例

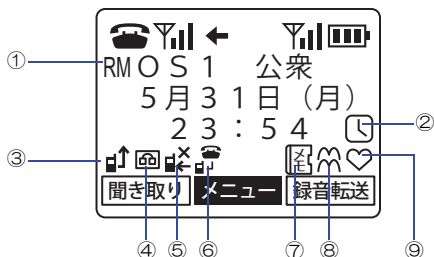


ソフトキー切替ボタンを押すと、次のメニューが表示されます。



メニュー	機能メニューの選択画面を呼び出す(→P27, 110)
聞き取り	VoiceMailを聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	PHSと多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する
受話音量	受話音量を調節する(→P65)

～表示されるアイコンの意味～

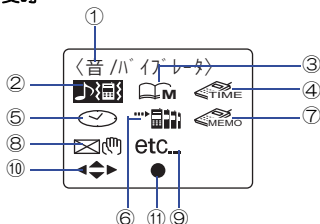


① RM	ローミング機能を利用している(→P108)
② ㇿ	スケジュールを設定している(→P123)
③ ㇿ	OSで転送(不在転送、録音転送)を設定している
④ ㇿ	VoiceMailが届いている
⑤ ㇿ	OSで着信拒否を設定している
⑥ ㇿ	ワンナンバシェアリングを設定している
⑦ ㇿ	留守録/ドライブを設定している(→P129)
⑧ ㇿ	着信がバイブレータになっている(→P72)
S	着信がサイレントになっている(→P70)
⑨ ㇿ	「マナーモード」を設定している(→P71)

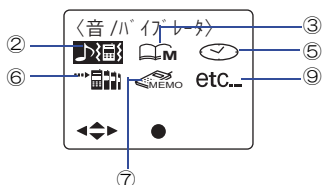
～機能メニュー～

ソフトキーの[メニュー]を選択すると、以下のメインメニューが表示されます。

待受時



通話時




ソフトキーが表示されていないときは、機能キーの中央を押すとメインメニューが表示されます。

① <xxx>	現在選択中のメニュー項目名
②	着信音や着信音量の設定(→P69)
③	電話帳の参照や登録(→P84)
④	通話時間の表示(→P120)
⑤	時計の設定やスケジュール(→P122)
⑥	着信/発信履歴の表示(→P62)
⑦	留守録・音声メモの録音・設定(→P129)
⑧	パスワードロックやキーロックの設定(→P154)
⑨ etc...	上記以外の機能(液晶の濃度や暗証番号など)の設定(→P112, 136)
⑩	▲で示された方向(上下左右)に選択肢があることを表わす(→P13)
⑪ ●	機能キーの中央を押して機能を選択できることを表わす(→P13)

準備

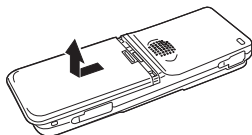
お使いになる前に

◆ 電池パックをセットする・交換する

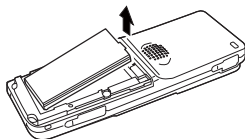
- 1 (交換時のみ)電源が入っているときは  ボタンを2秒以上押し、電源を切ります。



- 2 電池カバーを取り外します。
電池カバーのくぼみを指で押し、カバーを取り外します。



- 3 (交換時のみ)電池パックを取り出します。

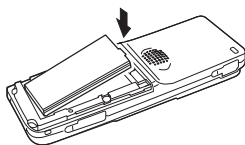


1
基本
操作編

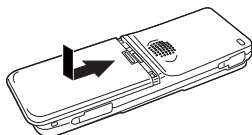
準備

4 電池パックを入れます。

接続コネクタの向きに注意してしっかり押し込みます。



5 電池カバーを取り付けます。



お願い

- 電池パックは、必ず電源を切ってからセットしてください。
 - 長時間ご使用にならない時は、充電してから電池パックを取り外して保管してください。
- ご使用にならない場合でも、3か月に1回は必ず充電してください。

◆ 電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。

また、充電後もACアダプタや充電器に接続したままの場合、充電と放電を繰り返し、電池の消耗が早まります。電池の消耗に伴い電池パックが膨らむ場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性です。誤った使用をされない限り安全上に問題はありますが、電池は消耗しているため、早期に交換をしてください。

1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。(電池パックの寿命の目安は、約1年です。)



密閉型蓄電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

◎ 電池不要時の処理方法

- (1) この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- (2) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
- (3) 交換後不要になった電池、および使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、最寄の販売店窓口等にご持参頂くか、販売担当の者にお渡しください。



危険

● 電池パックについて

電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。

- ・ 本電話機専用の電池パックと充電器を使用してください。
- ・ 火の中に投入したり加熱しないでください。火のそばや、炎天下等の高温になる場所での使用、充電、放置は避けてください。
- ・ プラス(+)、マイナス(-)を逆にしたり、針金等の金属で接続しないでください。
- ・ また、金属製のネックレスやヘアピン等と、一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたりしないでください。
- ・ ハンダ付けや分解、改造はしないでください。

◆ 電池の使用時間の目安

条件		使用可能時間
モード	連続	
事業所コードレスシステムモード	待受	約500時間
	通話	約6時間
公衆	待受	約500時間
	通話	約6時間
トランシーバモード	待受	約100時間
	通話	約6時間
屋内/公衆デュアルモード	待受	約340時間
	通話	約6時間

(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。)

※ 連続通話時間

充電完了後、ずっと通話だけを行った場合に使用可能な時間の目安です。

※ 連続待受時間

充電完了後、一度も通話や操作をせずに、連続して待受状態を保つことが可能な時間の目安です。


- ・ 電波の届かない場所、電波の弱い場所での待受は電池の消耗が多いため、連続待受時間が短くなります。

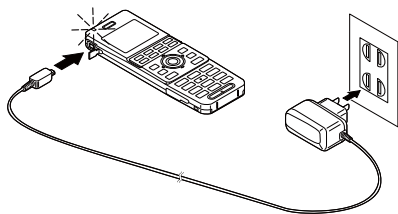


- 電池の使用可能時間は、電波が安定した状態で算出した弊社計算値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所での待ち受けは電池の消耗が多いため、表中の時間より短くなります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の時間は変化します。
- 実際にご利用になれる時間は、待受時間と通話時間の組み合わせになりますので、着信があったり、通話時間や移動距離が長い場合は短くなります。

◆ 電話機 / 電池パックを充電する

ACアダプタで直接充電する

- 1 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と電話機に差し込みます。電話機が充電器に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が点滅します。はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安
約180分

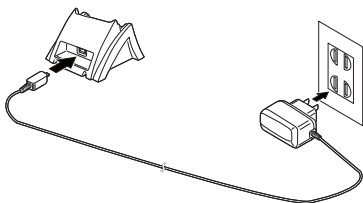
充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の点滅が止まります。




- 電池パックが空になった状態から長時間放電した後など、電池パックの残量がまったくない状態から充電する場合、充電を行っても充電ランプが点灯するまでに3分程度かかることがあります。
- 充電を開始してから30分経っても充電ランプが点灯しない場合は、電池パックを交換してください。

充電器で充電する

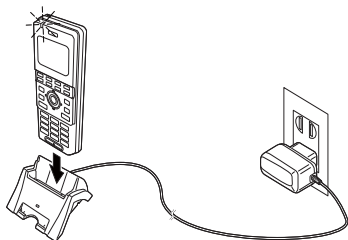
- 1 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電器に差し込みます。



- 2 電話機の向きに注意して充電器に差し込みます。


電話機が充電器に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が点滅します。

はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



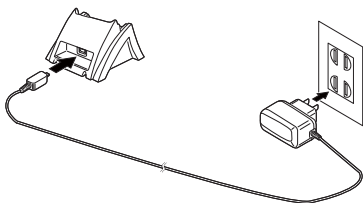
充電時間の目安

約180分

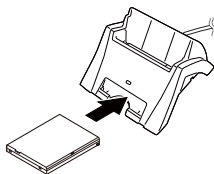
充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の点滅が止まります。

電池パックを充電する

- 1** ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電器に差し込みます。



- 2** バッテリーの向きに注意して充電器に差し込みます。
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安

約180分



- 充電中は、充電器や電話機があたためかくなりますが、故障ではありません。
- 電話機や充電器がぬれているときは、乾いた布で水分をふき取ってから充電してください。
- 電話機は、USBケーブルを使用して充電することもできます。
- 電話機と電池パックを同時に充電する場合、電池パックの充電が優先されます。



- 充電開始後約7時間を経過しても充電完了せず、着信/充電ランプが点滅するときは、電話機を充電器に差し込み直してください。また、電池が古くなった場合も点滅します。この場合は、電池パックを交換してください。新しい電池パックでこの状態になるときは販売店へご相談ください。
- 充電器に金属を入れないでください。
- 5~35℃の状態で使用してください。
- 本電話機専用の電池パックと充電器を使用してください。

◆電源を入れる



1 ボタンを2秒以上押します。





日付・時刻と電池残量が常時表示されます。(待受画面)


充電するときは、待受画面になったことを確認してから充電してください。



※ お買い上げ時は日付・時刻は設定されていないので「時計機能」を設定してください。(→P41)

※ 内または マークが表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所(圏外)にいます。

内または マークが消え、「」マークが表示される場所(圏内)まで移動してください。(OSシングルモードの場合は が表示されます。)

※ 電波が強く「」マークが表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。



電源を切るときは、再度  ボタンを2秒以上押します。

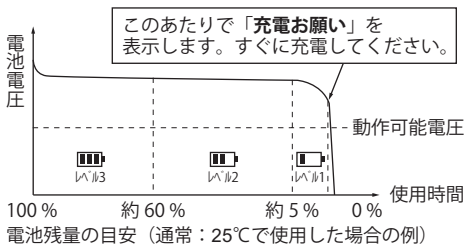



フオポイント

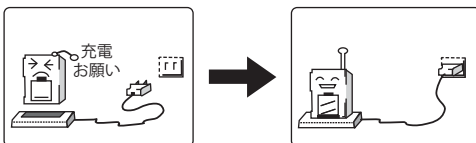
● 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされている場合、着信、発信をし
ない限りアイコンは表示されません。

◆ 電池残量を確認する

電池残量は、常にディスプレイで確認できます。
ご使用になる前に、電池残量を確認してください。



電池残量がなくなると、電池切れアラームが10秒ほど鳴り以下の画面が表示されます。電池切れアラームを止めるには  を押します。



通話中の場合はこの画面とともに「ピッピッピッ」という警告音が鳴ります。約20秒後に通話が切れますので、すみやかにお話しを終えて、充電してください。

電池切れアラームが鳴った後は約1分で電源が切れ、充電するまで使用できなくなります。

◆ 自局番号を確認する

お客様の電話番号を確認できます。事業所コードレスシステムモードやトランシーバモードでお使いの場合は、それぞれの番号を確認できます。

1

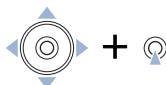
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2

<その他>を選択します。



3

<自局番号表示>を選択します。



4 番号を確認します。

機能キーの上下を押して順番に番号を確認します。



1 基本
操作編

準備

5 ボタンを押します。

待受画面に戻ります。





◆ 発信時に自局番号を通知する

PHSサービスを利用して自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

1

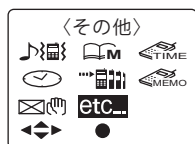
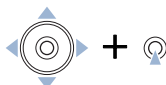
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



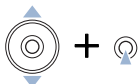
2

<その他>を選択します。



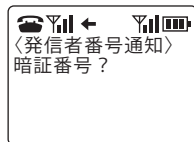
3

<発信者番号通知>を選択します。

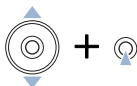


4 暗証番号を入力します。

ダイヤルボタンで入力します。



5 「ON」または「OFF」を選択します。



6 ボタンを押します。

待受画面に戻ります。



- 暗証番号は、ご購入時は「0000」になっています。<暗証番号変更>で変更してください。(→P112)
- 電話をかけるときに番号を付加することでも自局番号通知を切り替えられます。電話番号の前に「186」を付けると通知に、「184」を付けると非通知になります。番号付加機能は、相手の電話番号を表示した状態で機能キーの中央を押すことでも指定できます。「184付加設定」と「186付加設定」はPHSサービスを利用して電話をかける時のみ有効です。

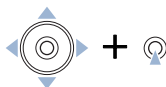


◆ 時計を設定する

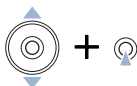
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 <時計>を選択します。



- 3 <日付時刻設定>を選択します。



- 4 日付を入力します。

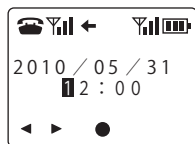
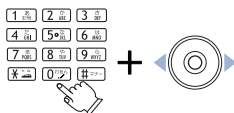
ダイヤルボタンで入力します。機能キーの左右を押すとカーソルを移動できます。



カーソル




- 5** 時刻を入力します。
日付と同様にダイヤルボタンで入力します。



- 6** 機能キーの中央を押します。



設定が完了します。
設定完了時に、0秒から時計が動作します。

- 7**  ボタンを押します。
待受画面に戻り、設定した日付時刻が表示されます。



- 本電話機は内部にバックアップ電池を装備しております。設定した時刻は内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換する場合でも保持されますが、3日間以上電池パックをはずしているとリセットされることがあります。本電話機を充電してから、再度日付・時刻の設定を行ってください。また、お買い上げ後、はじめてお使いになるときは、本電話機に電池パックを取り付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されます。
- 日付・時刻の設定を行わないと、「スケジュール機能」(→ P122)がご利用できませんので、ご注意ください。
- 日付の有効範囲は2010年1月1日～2099年12月31日です。2099年12月31日23:59以降は時計が進みません。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度の誤差があります。(25°C常温の場合)

2

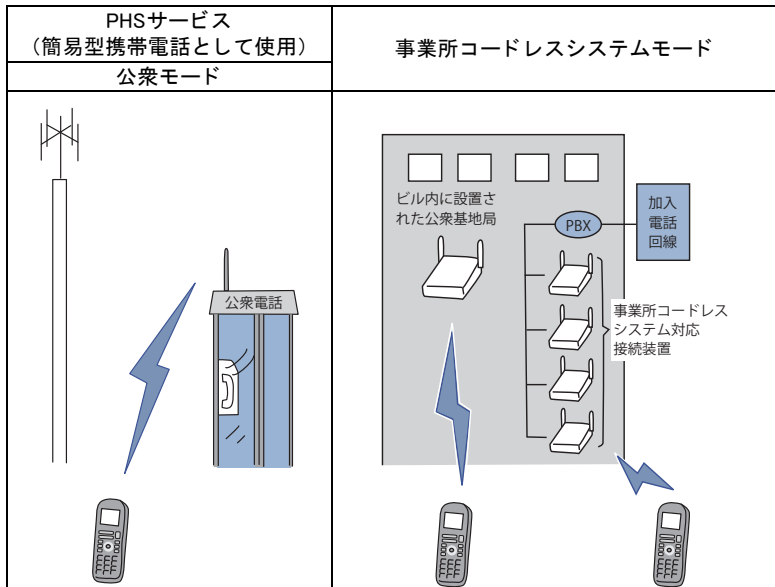
基本的な操作

モードとは.....	44
使い方とモード.....	45
モードを切り替えるには.....	46
オフィスで内線電話として 使う.....	49
事業所コードレスシステムモードで できること.....	49
外線発信番号を登録する.....	51
電話をかける.....	53
まず確認してください.....	53
電話をかける.....	54
外線電話をかける.....	56
電話を受ける.....	57
相手の方に待っていただくには (保留).....	59
電話を取り次ぐには (保留転送).....	60
かけ直すには.....	61
かけ直す.....	61
着信/発信履歴を利用する.....	62
受話音量を変える.....	65
通話中に変える.....	65
待受時に変える.....	66
着信音を変える.....	67
メロディを変える.....	67
音量を変える.....	69
マナーモードにする.....	71
パイプレータ着信に設定する.....	72

文字の入力操作.....	74
入力モードの切り替え.....	74
漢字・ひらがな入力.....	76
カタカナ・英字入力.....	79
文字の削除.....	80
文字の挿入.....	81

モードとは

本電話機は、オフィスの内線電話としてだけでなく、次の図のように、公衆基地局やホームアンテナを通し、PHS(簡易型携帯電話)として使用することもできます。(PHSサービスを利用するときは、公衆事業者との契約が必要です。)



PHSサービスを利用し、簡易型携帯電話として使用します。電話番号は、PHSサービスの契約番号です。公衆電話ボックス等に設置された公衆基地局から、電波を受信して通話します。

事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録して内線電話機として外線通話や内線通話をご利用になれます。事業所コードレスシステムサービス対応機器のご購入と登録が必要です。(→P49)



- モードを切り替えるには事業所コードレスシステムモード、公衆モードを使い分ける場合は、モードの切り替えが必要です。(→P46)
1つのモード固定で使用する「シングルモード設定」と、2つのモードの電波を両方とも受信できる「デュアルモード設定」の2種類があります。(→P46)
- トランシーバモード(→P157)
同じ事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録した電話機どうして直接通話できます。

◆使い方とモード

本電話機は、オフィスの内線電話としてだけでなく、公衆アンテナを通し、PHSとして使用することもできます（PHSサービスを利用するときは、公衆事業者との契約が必要です）。

	モード（表示名）	一般的な使用例	使用する電話番号
屋内系	事業所コードレスシステム（OS1～3）	オフィスの内線電話の子機として利用します。	オフィスの一般回線用電話番号および内線番号
	トランシーバ（TRS）	トランシーバとして利用します。	呼び出し番号
公衆系	PHSサービス（公衆）	屋外の公衆アンテナを通じてPHSサービスを利用します。	PHSサービスの電話番号（070xxxxxxxx）

- * 事業所コードレスシステムモードで使用するには、それぞれ事業所コードレスシステム対応機器が必要です。
- * 公衆系のモードで使用するには、公衆事業者との契約が必要です。

モードの選択—シングルモードとデュアルモード

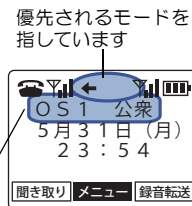
ご使用の形態に合わせて、あらかじめモードを設定する必要があります。本電話機では、それぞれのモードを固定で設定できる「シングルモード」と、2種類のモードを常時有効にしてどちらの着信にも応答できる「デュアルモード」が選択できます。

「デュアルモード」は、オフィスなどで内線電話として使用する以外、PHSとしても使用している場合、内線の着信とPHSの着信の両方に応答できるので便利です。

現在、どのモードが選択されているかは、電話機のディスプレイで確認できます。

右のディスプレイの状態は、「屋内—公衆 屋内優先」のデュアルモードで、「屋内（オフィス）」が優先されていることを示します。発信するときは、優先されているモードで発信されます。

モードを示しています



◆モードを切り替えるには

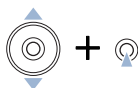
モード選択

1  (モード)を長く(1秒以上)押します。



2 モードを選択します。

機能キーの上下を押して選択し、機能キーの中央を押して確定します。



表示されるモード

デュアルモード	シングルモード
屋内-公衆 公衆優先	公衆
↓	↓
屋内-公衆 屋内優先	OS1~3
	↓
	TRS



- 公衆事業者と契約していない場合、デュアルモード、シングルモードの公衆は表示されません。
- 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされているモードに変更した場合、着信、発信をしない限りアイコンは表示されません。
- 表示するモードの名称は、メインメニュー→<その他>→<モードネーム設定>で変更できます。(→P48)
- 優先して発信するモードは一時的に変更することができます。(→P47)

接続先一時変更

発信するときにデュアルモードで優先になっているモードを切り替えます。例えば、「屋内ー公衆 屋内優先」(OS1ー公衆)でOSが優先されているとき、一時的に公衆の番号で発信したい場合などに利用します。


1 相手先の電話番号を入力します。

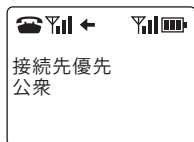
電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。



2 (モード)を押します。

接続先が表示されます。

 (モード)を押すごとに接続先は変更されます。



3 を押します。

入力した電話番号がダイヤルされます。



選択したモードで発信していることを確認します



モード名を変更する

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <その他>を選択します。



- 3** <モードネーム設定>を選択します。



- 4** 名前を変更するモードを選択します。



- 5** 新しい名前を入力します。
ダイヤルボタンで入力し、機能キーの中央を押して確定します。
全角3文字(半角6文字)まで入力できます。



- 6** [戻る]ボタンを押します。
待受画面に戻ります。



- スペース(空白)だけを入力すると、ご購入時の名前にもどります。
- 文字の入力方法は、「文字の入力操作」を参照してください。(→P74)



オフィスで内線電話として使う

事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録すると、オフィスなどの内線電話としてご利用いただけます。



◆ **事業所コードレスシステムモードでできること**
一般のオフィスの内線電話機と同様の操作で使用できます。

電話をかける(内線)

内線電話としてかける


- (1) 電話番号を入力します。
(電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。)
- (2) を押します。
- (3) 接続されたらお話しします。
- (4) お話しが終わったら を押します。

電話を受ける


- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2) を押します。
(クイック機能がONのときは、充電器から持ち上げるだけで応答できます。)
- (3) お話しが終わったら を押します。

相手の方に待っていただく(保留)

<保留にする>

を押します。

<通話を再開する>

再度、を押します。




重要

- 設置する事業所コードレスシステムサービス対応機器や接続装置等の種類によっては、ご利用にならない機能や操作方法が異なる場合があります。接続装置の取扱説明書を併せてお読みいただくか、事業所コードレスシステムサービス対応機器の保守担当の方にお問い合わせください。


電話を取りつぐ(保留転送)

一度受けた電話を、他の電話機に転送できます。

＜転送するとき＞

- (1) お話し中に  を押します。
- (2) 取りつぐ電話機の内線番号を入力します。
- (3) 接続されたら取りつぐことを伝え電話を切ります。

＜転送されたとき＞

- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2)  を押します。
(クイック機能がONのときは、充電器から持ち上げるだけで応答できます。)
- (3) 転送元の電話が切れたら、転送された方とお話できます。

外線電話をかける(外線発信番号付加)

社外に電話をかける際は、「0」番などの外線発信番号を付けてダイヤルします。あらかじめ「外線発信番号」を設定しておけば、簡単な操作で外線発信番号を付加することができます。(→P51, 156)

PBX間ローミング機能

あらかじめ登録してある他の会社などの構内でも、同じ内線番号で内線電話として使用することができます。(→P108)

VoiceMail連動

通話録音装置にVoiceMailが届くと、自動的に電話機に通知されます。



- 事業所コードレスシステムモードを利用する場合は、OS の「シングルモード」または「デュアルモード」にしてください。

◆外線発信番号を登録する

外線発信番号を登録しておけば、発信番号付加機能を利用して外線電話をかけることができ便利です。

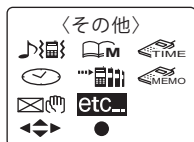
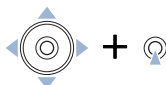
1

[メニュー]を選択します。

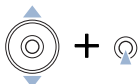
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。


2

<その他>を選択します。

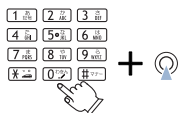

3

<外線発信番号登録>を選択します。



4 外線番号を入力します。

ダイヤルボタンで入力し、機能キーを押して確定します。



5 ボタンを押します。

待受画面に戻ります。



- 外線発信番号を付加して電話をかけるには、「発信番号付加機能」を利用します。(→P156)

電話をかける



◆まず確認してください

電話をかける前に、使用するモードや電波状態などディスプレイで確認します。

モードの確認

オフィスなどで内線電話として電話をかけるときは、

- ① ディスプレイに「OS1(/2/3)」と表示されていることを確認します。
デュアルモードでお使いの場合は、さらに
- ② 「屋内」側に←が向いていることも確認してください。



- 公衆モード (PHS) で使用する場合は「公衆」が優先になっているかどうかを確認します。

電波状態の確認

「屋内」側、「公衆」側のアンテナアイコンの状態を確認します。



電波受信圏内では、ディスプレイに▽と、電波の強度を示す、▬が表示されます。電波が強いほど、電波の受信感度がよく、通話の状態も良くなります。

電波の届かない場所(圏外)では、▽が表示されず、 または が表示されます。(OSシングルモードの場合はOS1が表示されます。) この場合、通話できません。



また、電波の弱い場所(▽、▽)でも通話できないことがあります。



- 電波が弱いときなど、待受中に ボタンを長押しすることで、基地局に再接続できます(グッドウェーブ機能)。



◆ 電話をかける

1 相手先の電話番号を入力します。

押し間違えた場合は(☐)(クリア)ボタンで文字を消して入力直します。(☐)(クリア)ボタンは短く押すと1文字ずつ、長く押すとすべての文字を消し、待受画面に戻ります。

電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。



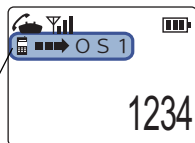
2 基本操作編

2 (☎) ボタンを押します。

入力した電話番号がダイヤルされます。



発信していることを示しています



3 相手の方が出たらお話しください。

通話時間が表示されます。









4 通話終了後、 ボタンを押します。



ワンポイント



- 事業所コードレスシステムモードで電話をかけたときに接続装置の回線がすべて通話中のとき「混み合っています」と表示します。

-  を押してから電話番号を入力しても電話がかけられます。
- 通話中に  を長く(2秒以上)押すと、送話音量が大きくなり、小さな声で通話できます。
- 通話時間は最大999分59秒まで表示し、その後は0秒に戻ります。
- 電池残量が少ないと途中で電源が切れることがあります。ご使用になる前に、電池残量を確認してください。
- 通話中に  を押すと、通話を保留します。再度  を押すと、再開できます。ただし、保留中に  を押したり充電器に戻すと(クイック機能がONのとき)、通話が切れてしまいます。
- 番号入力時に機能キーの左を押すとポーズ「p」が入力できます。ポーズを利用すると、電話をかけてからポーズ以降のダイヤルを送信できるので、「自宅の留守番電話のリモートコントロール用暗証番号」など、様々な操作が簡単に利用できます。




・  を押すとポーズ以降の番号が送信されます。

<例> 自宅の留守番電話を再生する

外線発信番号:0] の場合
自宅の電話番号:0312345678	
留守番電話の暗証番号:#1234	
留守番電話の再生番号:#1	

- (1) 「外線発信番号」+「電話番号」+「p()」+「暗証番号」+「p()」+「再生番号」を入力します。

00312345678p#1234p#1

- (2)  を押して電話をかけます。(00312345678が発信されます)
 - (3) 留守番電話が応答したら  を押します。(#1234 が送信されます)
 - (4) 再度  を押します。(#1 が送信され、留守番電話が再生されます)
- (1)の番号を電話帳に登録しても同様に操作できます。



お願い

- 警察(110)、海上保安庁(118)、消防(119)にかける場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ 対応がスムーズに行えるようPHSからの電話であることをお知らせください。
 - ・ 通話中に電波が途切れることのないよう、立ち止まってお話しください。
 - ・ 警察(110)、消防(119)からの呼び返しができるよう、通話終了後も電源を切らないでください。また、圏外へ出ないように注意してください。



◆ 外線電話をかける

設定してある外線発信番号を組み合わせる外線電話をかけます。(発信番号付加機能)

1 相手先の電話番号を入力します。

電話帳や着信 / 発信履歴から検索することもできます。

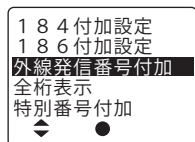
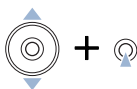


2 機能キーの中央を押します。



3 <外線発信番号付加>を選択します。

登録されている外線発信番号が付加されます。



4 を押します。

外線発信番号と電話番号がダイヤルされます。



フポイント

- 外線発信番号は<外線発信番号登録>であらかじめ登録しておいてください。(→P51)
- 発信番号付加機能には、外線発信番号付加の他、各種付加機能があります。(→P156)
- 手順3で<特別番号付加>を選択して外線発信番号を入力しても外線電話をかけられます。

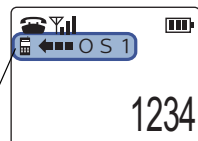
電話を受ける



1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。

相手の方の電話番号や電話帳に登録している名前が表示されることがあります。PBXによっては、PBX側に登録してある情報(相手の方の番号や名前)が表示されることがあります。

着信していることを示しています



2 ボタンを押します。

エニーキーアンサ機能を「ON」に設定している場合は、ダイヤルボタンでも応答できます。(→P117)



3 相手の方とお話してください。

通話時間が表示されます。










4 通話終了後、 ボタンを押します。





フネポイント

- 着信音は変更したり鳴らないように設定できます。(→P67, 69)
- マナーモードを利用しても着信音を消すことができます。(→P71)
- 着信音が鳴っているときに  を押し、音を止めることができます。その後  を押しと応答できます。
- クイック機能を「ON」に設定していて電話機が充電器にセットしてあるときは、充電器から持ち上げるだけで応答できます。(→P150)
- 通話中に  を押しと、通話を保留します。再度  を押しと、再開できます。ただし、保留中に  を押ししたり充電器に戻すと(クイック機能がONのとき)、通話が切れてしまいます。
- 電話に出なかった場合は、「着信あり」と表示され(着信記録)、相手の方が番号通知をしているときは着信履歴で電話番号が確認できます。(→P61, 62)
「着信あり」の表示は、 (クリア)を長押し(2秒以上)、または  を押しと消えます。

相手の方に待っていただくには(保留)



通話を中断して相手の方に待っていただくときは、保留にすることができます。

1 通話中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

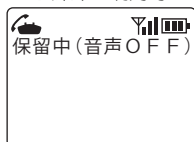
2  を押します。



事業所コードレスシステムご利用時



公衆系ご利用時




2
基本
操作編

3 通話を再開するときは、再度  を押します。



4 相手の方とお話してください。



- 保留中に  を押したり充電器に戻すと(クイック機能ONのとき)、通話が切れてしまいます。

電話を取り次ぐには(保留転送)



事業所コードレスシステムモードの場合、一度受けた電話を他の電話機に転送できます。

1 通話中に、相手の方に転送することを伝えます。

2  を押します。



3 転送先の内線番号をダイヤルします。



4 転送先の方が電話に出たら転送であることを伝えて電話を切ります。



手順1でお待たせした相手の方と、転送先の方との通話になります。



● 保留転送は、事業所コードレスシステムモードの場合にのみ有効です。

かけ直すには



本電話機は、1度かけた電話番号(リダイヤル)やかかってきた電話番号(着信履歴)を20件まで記憶しています。☐(クリア)ボタンを押すと電話番号を確認したり、かけ直すことができます。

◆ かけ直す

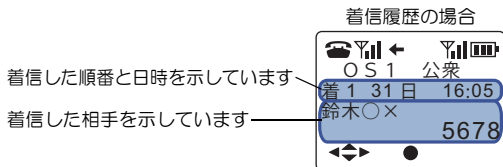
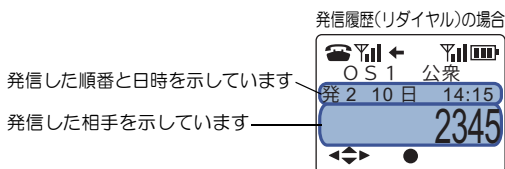
- 1 ☐(クリア)ボタンを押します。
直前にかけた電話番号が表示されます。



2 基本操作編

- 2 目的の番号を選択します。

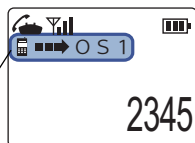
機能キーの上下を押し、かける番号を表示させます。
機能キーの左右を押すとリダイヤルと着信履歴が切り替わります。



- 3 ☐ボタンを押します。
表示されている電話番号がダイヤルされます。



発信していることを示しています



相手の方が出たらお話しください。



◆ 着信 / 発信履歴を利用する

着信履歴や発信履歴(リダイヤル)は最新の電話番号を20件まで記憶し古いものから順に消えてしまいますが、手動で消すこともできます。

また、着信履歴や発信履歴(リダイヤル)の電話番号を電話帳へ登録することもできます。

ここでは、メインメニューから<着信履歴>または<リダイヤル>の電話番号を選択する方法で説明しますが、電話番号はP61の方法でも選択できます。

1

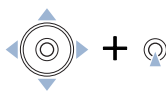
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



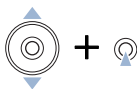
2

<着信 / 発信履歴>を選択します。



3

<着信履歴>または<リダイヤル>を選択します。



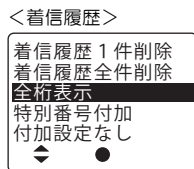
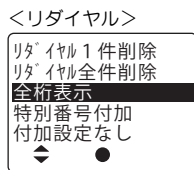
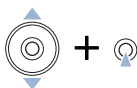
- 4 目的の番号を選択します。
機能キーを押し、目的の番号を表示させます。



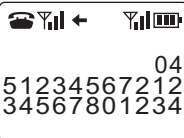


- 5 機能キーの中央を押します。
着信/発信履歴の機能メニューが表示されます。



- 6 機能を選択します。



- 同じ電話番号の相手へかけた場合でも、発信履歴(リダイヤル)は1件として記憶され、同じ番号が2件記憶されることはありません。着信履歴はかかってきた件数が記憶されるため、同じ電話番号が複数になることがあります。

電話番号表示	電話番号を22桁まで表示します。	
全桁表示	22桁を超えている電話番号を24桁まで表示します。	 04 51234567212 34567801234
特別番号付加	入力した番号を付加します。	
付加設定なし	「184」「186」付加設定を取り消します。	
184付加設定 ※	「184」(発信番号非通知)を付加します。	
186付加設定 ※	「186」(発信番号通知)を付加します。	
外線発信番号付加	<外線発信番号登録>で登録してある外線発信番号を付加します。	
電話帳登録	電話帳に登録します。登録した内容の変更方法は電話帳の機能を参照してください。(→P84)	
着信履歴1件削除 リダイヤル1件削除	選択した1件の電話番号を削除します。削除を確認する画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。	 削除しますか? はい いいえ ▲ ●
着信履歴全件削除 リダイヤル全件削除	着信履歴またはリダイヤルに記憶しているすべての電話番号を削除します。削除を確認する画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。	 着信履歴の全てを 削除しますか? はい いいえ ▲ ●

※ PHSサービスを利用して電話をかけるときのみ有効です。



- 手順4で表示された相手先に☎️が付いているときは、留守録が録音されています。



- 手順4で表示された相手先に「*」が付いているときは、かかってきた電話に出なかったことを示します。



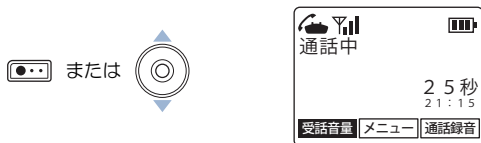
- 電源を切ってもリダイヤルや着信履歴は削除されません。通話相手を他の人に知られたくない場合は手動で削除してください。

受話音量を変える

受話音量は5段階で変更できます。相手の方の声が小さいときや逆に大きすぎて聞き取りにくいときに調節してください。通話中と待受時では操作方法が異なります。

◆通話中に変える

1 [受話音量]を選択または機能キーの上下を押します。



2 機能キーの上下を押して調整します。



約2秒すると待受画面に戻ります。

2
基本
操作編

受話音量を変える



フォンポイント

- 公衆のシングルモードなどの場合は、ソフトキーの[受話音量]が表示されません。[受話音量]が表示されないときは、手順2から操作してください。
- ソフトキーの[受話音量]は、設定されている内容により表示される位置が異なります。



◆ 待受時に変える

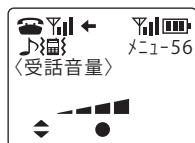
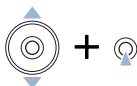
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



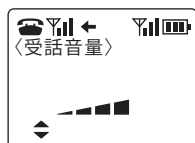
- 2 <音/バイブレータ>を選択します。



- 3 <受話音量>を選択します。



- 4 音量を調整します。
機能キーの上下を押して調整します。
約2秒すると待受画面に戻ります。



着信音を変える



着信音は、メロディの他に、音量も変更できます。

◆メロディを変える

着信音は、15種の固定パターンから選べます。
事業所コードレスシステムモードの場合はさらに内線着信、外線着信、専用線着信の着信回線をそれぞれ設定できます。

1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



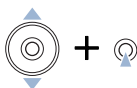
2

<音/バイブレータ>を選択します。



3

<着信音選択>を選択します。

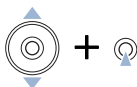


4

着信音を変更するモードを選択します。

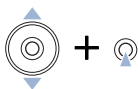
<OS着信音選択>を選択した場合は、手順5へ進みます。

その他のモードを選択した場合は、手順6へ進みます。

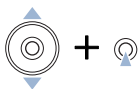



2
基本
操作編

5 OSの着信回線を選択します。



6 着信音を選択します。



7  ボタンを押します。
待受画面に戻ります。



- 専用線とは、PBXとPBXを専用線で接続している場合の回線です。例えば本社と支社、事業所と他事業所などの間で利用されます。



- <着信音量>で着信音を「サイレント」にしている場合は、手順6の操作の前に「設定できません」と表示され設定できません。
- 「OFF」を選択すると、着信音が鳴らなくなります。



◆ 音量を変える

着信音を大きくしたり消すことができます。

1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



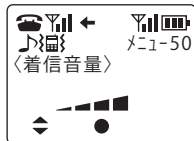
2

<音/バイブレータ>を選択します。



3

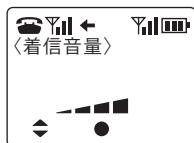
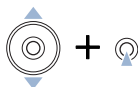
<着信音量>を選択します。



4


着信音量を選択します。

4段階のボリュームと「サイレント」(無音)、「ステップ」(3秒ごとに大きくなる)から、機能キーの左右を押して選択し、機能キーの中央を押して確定します。



- 5 機能キーの中央を押します。
設定を終了します。



- 6  ボタンを押します。待受画面に戻ります。



- 待受中に機能キーの上下を押すことでも着信音を変えることができます。
- 着信音量で「サイレント」を選択すると、着信音が鳴らなくなります。サイレントのときは、ディスプレイにSのマークが表示されています。
- バイブレータ着信にしたいときは、メインメニュー→<音 / バイブレータ>→<バイブレータ設定>で設定してください。(→P72)

マナーモードにする

マナーモードに設定すると、着信音を消したりバイブレータにしておくことができるので、会議や打ち合わせの間などに便利です。

1 **#マナー** ボタンを2秒以上押します。

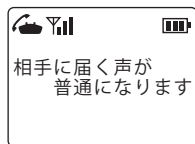
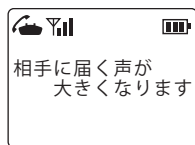
ディスプレイに♡が表示され、マナーモードに設定されます。＜マナーモード選択＞の設定により📵(バイブレータ)またはS(サイレント)も表示されます。



マナーモードを解除するときは、再度**#マナー**ボタンを2秒以上押します。ディスプレイの♡が消えます。📵またはSの表示も元に戻ります。(＜バイブレータ設定＞やく着信音量＞の設定によって変わります。)

通話中にマナーモードを設定/解除した場合

「ピッピッ」という音が鳴り、右のような画面が約2秒間表示されます。



マナーモードの着信状態は＜マナーモード選択＞でバイブレータまたはサイレントのどちらかに設定できます。(→P114)

	バイブレータ	サイレント
着信音	バイブレータ	消音
キータッチトーン	消音	消音
警告音	消音	消音
アラームメッセージ音	バイブレータ	消音

バイブレータ着信に設定する



基本的な操作

着信時にバイブレータ振動させるかどうかを設定します。

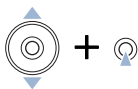
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



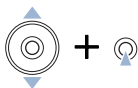
- 2 <音/バイブレータ>を選択します。



- 3 <バイブレータ設定>を選択します。



- 4 「ON」または「OFF」を選択します。

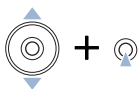


「OFF」を選択したときは、手順6へ、「ON」を選択したときは、手順5へ進みます。

2
基本
操作編

バイブレータ着信に設定する

5 パターンを選択します。



- パターン1.....0.5秒間隔で0.5秒振動します。
- パターン2.....1秒間隔で1秒振動します。
- パターン3.....1秒間隔で3秒振動します。

6 ボタンを押します。 待受画面に戻ります。



- バイブレータを「ON」にすると、ディスプレイに📶のマークが表示されます。マナーモードでサイレントに設定している場合、📶のマークは表示されません。
- バイブレータを「ON」にしても充電器に置いているときは振動しません。




- バイブレータを「ON」にしているときは、机の上に放置しないでください。着信時の振動で落下する恐れがあります。

文字の入力操作

基本的な操作

電話帳など、ダイヤルボタンで文字を入力します。
入力できる文字は、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、英語、記号です。

◆入力モードの切り替え

入力できる文字は  ボタンで入力モードを切り替えます。
現在の入力モードは、ディスプレイ右下のアイコンで確認できます。

[漢]: 漢字とひらがなを入力します。漢字は、機能キーで変換します。

[全カ]: 全角のカナを入力します。

[半カ]: 半角のカナを入力します。

[全英]: 全角の英字を入力します。

[半英]: 半角の英字を入力します。


[数]: 全角/半角の数字を入力します。



2 基本操作編

文字の入力操作

1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2  (メモ) ボタンを押して入力モードを切り替えます。

通常の入力

漢字ひらがな



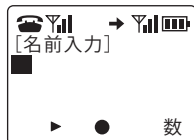
全角カナ



半角カナ



数字



半角英字



全角英字



各モードで入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな	全角カナ	半角カナ	全角英字	半角英字	数字
1 あ あひえお	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイイ アイイ	? ! ¥ & ()	? ! () ¥ & #	11
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	かかか かかか	ABCabc	ABCabc	22
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	さしす さしす	DEFdef	DEFdef	33
4 た GHI	たちつとっ	タチツテトツ	たつてつ たつてつ	GHIghi	GHIghi	44
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	なにぬ なにぬ	JKLjkl	JKLjkl	55
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	はひふ はひふ	MNOmno	MNOmno	66
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	まみむ まみむ	PQRSpqrs	PQRSpqrs	77
8 や TUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	やゆよ やゆよ	TUVtuv	TUVtuv	88
9 ろ WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	らりる らりる	WXYZwxyz	WXYZwxyz	99
0 わをん - . , ' ! ?	わをん - . , ' ! ?	ワワン - . ! ?	ワワ? - . ! ?	., ' - : / & _	., ' - : / & _	00
* * ☆ ●	* ☆ ●	* ☆ ●	* ☆ ●	♪ ☆ ●	@ ~ -	**
# #	スペース(空白)					##

(*1)記号は受け取った方の機種によっては表示されません。

(*2)ひらがなと全角カナの「」」「」は、付けることのできる文字の後ろにのみ入力できます。

- 入力の例)「う」 = 「漢字ひらがなモード」にして [1 あ] を3回押します。
 「B」(全角) = 「全角英字モード」にして [2 か] を2回押します。
 「b」(半角) = 「半角英字モード」にして [2 か] を5回押します。
 「3」(全角) = 「数字モード」にして [3 さ] を1回押します。
 「3」(半角) = 「数字モード」にして [3 さ] を2回押します。

使用できるボタンとその機能

文字入力で使用するボタンです。

[] (クリア) : 文字を削除します。(→P80)

[文字] : 入力モードを切り替えます。

機能キー : 漢字変換中は上下を押すと変換候補を切り替えます。
 左右を押すと変換対象の文節の長さを変えます。
 中央を押すと変換を確定します。

◆ 漢字・ひらがな入力

ここでは「鈴木」を入力する操作を例に説明します。







1 文字の入力画面にします。

電話帳など、文字を入力する画面にします。

2 ボタンを押して入力モードを「漢字ひらがなモード」に切り替えます。

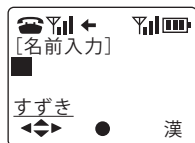





3 「すずき」と入力します。

「す」= を3回押して入力した後、機能キーの右を1回押して入力位置を1文字右に移動させ、「す」= を3回、「 」= を1回、「 」= を2回、それぞれダイヤルボタンで入力します。

入力した文字にアンダーラインが付きます。

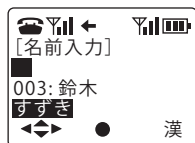
この文字は未確定の状態です。



- ・ 次の文字が違うボタンの場合：
そのまま該当するボタンを押します。
- ・ 続けて同じ文字や同じボタンの文字を入力する場合：
機能キーの右を1回押して入力位置を1文字右に移動させてから入力します。
- ・ 文字を削除する場合：
 -  (クリア) を短く押すとアンダーライン上(変換範囲)の右端の文字が削除されます。
 -  (クリア) を長く(1秒以上)押すとアンダーライン上(変換範囲)の右端以降の文字がすべて削除されます。
 - 再度  (クリア) を長く押すと未確定の文字がすべて削除されます。

4 機能キーの上下を押して候補を表示させます。

入力文字の変換候補が表示されます。



- ・ 次の候補を表示させる場合：
機能キーの上下を押します。
- ・ 変換範囲(文節)が適切でない場合：
機能キーの左右を押して変換範囲の長さを変えます。

5 機能キーの中央を押します。

文字が確定します。



6 続けて次の文字を入力します。



重要

- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できるのはJIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略されています。



ワンポイント

- ひらがなにしたいときは、手順3で入力した後、機能キーの中央を押します。
- 手順5で機能キーの中央を押す前に次の文字を入力すると変換中の文字が表示されている候補で確定されます。

特殊な文字

各種記号やギリシャ文字などは、「漢字ひらがなモード」で「きごう」や「えもじ」、「もじ」と入力して変換すると表示されます。

「きごう」で変換したときに表示される文字

・	”	\$	%	’	+	,	.	:	;
<	=	>	@	[]	^	_	`	{
	}	~	。	「	」	-	,		

「えもじ」で変換したときに表示される文字

’	”	—	\\	∖	∕	∴	//	全	々
∕	○	—	-	∖	//	…	..	・	”
[]	<	>	《	》	『	』	{	}
±	×	÷	≠	≦	≧	∞	∴	♂	♀
°	’	”	℃	φ	£	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	=	∈	∋	⊆
≡	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	¬	⇒	⇔
∇	∃	∠	⊥	∩	∂	∇	≡	≐	≪
≫	√	∞	∞	∴	∫	∫	Å	‰	#
b	♪	†	‡	¶	○				


「もじ」で変換したときに表示される文字

わ	ワ	カ	ケ	ゐ	ゑ	ㇿ	ヱ	ヴ	A
B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ
M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ
X	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η
θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	Α	Β	Β
Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л
М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х
Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я
a	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и
й	к	л	м	н	о	п	р	с	т
у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь
э	ю	я							






◆カタカナ・英字入力

ここでは名前に「KEIKO」を入力する操作を例に説明します。

1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2  ボタンを押して入力モードを「全角英字モード」または「半角英字モード」に切り替えます。



3 「KEIKO」と入力します。
「K」=を2回、「E」=を2回、「J」=を3回、「K」=を2回、「O」=を3回、それぞれダイヤルボタンで入力します。
入力部分に直接入力されます。




4 続けて次の文字を入力します。



フポイント

- カタカナを入力する場合は、手順2で「全角カナモード」または「半角カナモード」に切り替えます。



◆文字の削除

 (クリア) ボタンを押すと文字を削除できます。


1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2 文字の入力画面になります。
削除する文字にカーソルを移動します。




3  (クリア) を押します。
 (クリア) を短く押すと、カーソル上の文字が1文字削除されます。
※ カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が削除されます。



 (クリア) を長く (1秒以上) 押すと、カーソルより右側の文字がすべて削除されます。



再度  (クリア) を長く押すとカーソルより左側の文字がすべて削除されます。



◆文字の挿入

機能キーでカーソルを移動して入力すると文字を挿入できます。

1

文字の入力画面にします。

電話帳など、文字を入力する画面にします。

2

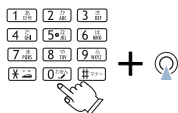
文字の入力画面になります。

文字を挿入する場所へカーソルを移動します。



3

文字を入力します。



スペースを入力するときは[]を押します。(数字入力モードのときは「#」が入力されるので他の入力モードで入力してください。)



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.



3

電話帳を使う

電話帳を登録する.....	84
新規登録する.....	84
コピーして登録する.....	88
電話帳を利用して電話を かける.....	90
一覧表示から選択する.....	90
フリガナで検索する.....	92
アイコンで検索する.....	94
電話帳を修正する.....	96
名前を変更する.....	96
電話番号を追加する.....	97
電話番号を変更する.....	98
電話帳を削除する.....	99
1つの電話番号のみ削除する.....	100
電話帳を全削除する.....	101

電話帳を登録する



電話帳では最大300人分の電話番号を電話機に登録できます。
よく利用する電話番号は、前もって電話帳に登録しておくくと便利です。

◆新規登録する

1人につき5つの電話番号が登録できます。
登録は次の3段階のステップで行います。

- ステップ1 電話帳を開きます。
- ステップ2 名前を入力します。
- ステップ3 電話番号を入力します。…5つの番号まで登録可能。

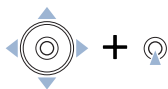
電話帳を開く

1 [メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



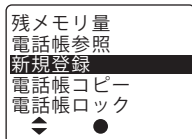
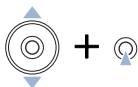
2 <電話帳>を選択します。



3 <電話帳>を選択します。



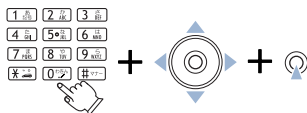
4 「新規登録」を選択します。



名前の入力

5 名前を入力します。

全角・半角を混在でき、全角で8文字まで入力できます。

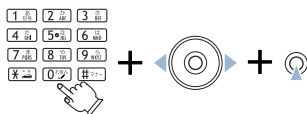


3
基本
操作編

6 フリガナを入力します。

12文字まで入力できます。

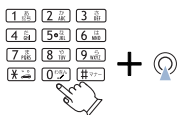
あらかじめ手順5で入力した名前のフリガナが入力されていますので、必要に応じて変更してください。



電話番号の入力

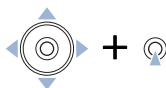
7 電話番号を入力します。

24桁まで入力できます。

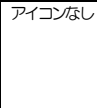




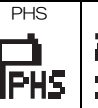




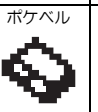

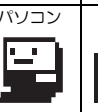



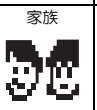


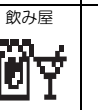


8 アイコンを選択します。

アイコンをなしにする場合は、の前の空欄を選択してください。



アイコンは次の種類があります。

アイコンなし	携帯	自宅	会社	会社FAX	PHS	店
						
工場	代表	直通	ポケベル	自宅FAX	パソコン	ホテル
						
学校	恋人	家族	友達・女性	友達・男性	飲み屋	
						

9 電話番号2以降を入力します。

電話番号1(手順7~8)同様、電話番号とアイコンを入力します。

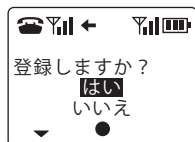
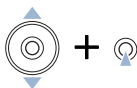
番号5まで入力すると次の項目に進みます。

電話番号を追加しないときは、番号を入力せずに機能キーの中央を押すと次に進みます。



10 「はい」を選択します。

「いいえ」を選択すると、入力した内容が破棄されます。



● 電話帳に登録できる件数は、入力する文字数・桁数・番号数によって異なります。最大で300人分の電話機が登録できますが、登録できる電話番号は最大約1100番号です。

登録メモリの残量は、メインメニュー→〈電話帳〉→〈電話帳〉→「残メモリ量」で確認できます。

● 電池パックを交換するときや電池残量がなくなったときでも、電話帳は削除されません。

● 電話番号にポーズを入れるときは、機能キーの左を押すと「p」が入力されます。



◆コピーして登録する

着信/発信履歴の番号を電話帳にコピーできます。

1

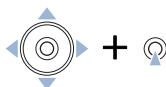
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2

<電話帳>を選択します。

3
基本
操作編

電話帳を登録する

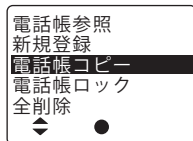
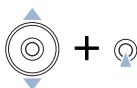
3

<電話帳>を選択します。

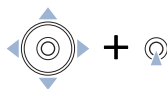


4

「電話帳コピー」を選択します。



5 コピーする番号を選択します。



選択した番号が電話帳にコピーされ、待受画面に戻ります。

6 名前を変更します。

必要に応じて、コピーした番号の登録名を電話帳で修正します。(→P96)



重要

- お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1週間以上電池パックをはずした状態および空の状態では、内蔵のバックアップ電池を充電する必要があります。本電話機に電池パックを取り付けて充電してください。内蔵のバックアップ電池も充電されず。

- 電話帳(→P84)に登録した内容は、別にメモを取り保管して下さるようお願いいたします。

電話帳の登録内容は電池パックをはずした状態および空の状態でも約1週間はお持ちますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、本電話機の故障・修理・電話機の変更やその他取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。

万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



ワンポイント

- 着信/発信履歴がないときは、手順4で「登録ありません」と表示されます。
- 名前のない番号をコピーした場合は、「リダイヤルコピー」または「着信履歴コピー」という名前で登録されています。
- 電話帳のコピーは、メインメニュー→<着信 / 発信履歴>のメニューからも選択できます。(→P62)

電話帳を利用して電話をかける



電話帳は一覧から選択することも、フリガナやアイコンから検索することもできます。

◆ 一覧表示から選択する

- 1 一覧表示画面にします。
電話帳ボタンを押します。




- 2 名前を選択します。
機能キーの上下を押して選択します。



- 3 発信番号を選択します。
選択した相手に2~5番目の電話番号を登録してある場合は、機能キーの左右を押して選択します。



- 4  ボタンを押します。
選択した番号がダイヤルされます。



フポイント

- 手順1の一覧表示は、メインメニュー→
〈電話帳〉→〈電話帳〉→「電話帳参照」→
「一覧表示」を選択しても開きません。




- 電話帳を1件も登録していないときは、手順1で「登録ありません」と表示されます。
- 〈電話帳表示切替〉で「5人」に設定してあるときは、手順2で5人の画面になります。(→P118)このときは、機能キーの上下を押して名前を選択した後、機能キーの中央を押すと手順2の1人画面になります。1人画面から、さらに機能キーの左右を押して[名前一覧に戻る]を選択すると、5人の画面に戻ります。
- 手順3で機能キーの左右を押すと登録してある電話番号以外に[名前編集]や[番号追加]などの電話帳編集機能も表示されます。(→P96-102)



◆フリガナで検索する

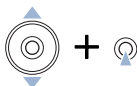
- 1 一覧表示画面にします。
電話帳ボタンを押します。



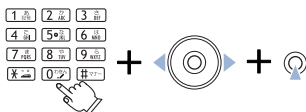
- 2  (クリア)を押します。

3
基本
操作編

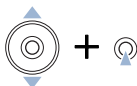
- 3 <フリガナ検索>を選択します。



- 4 フリガナを入力します。
入力は頭文字だけでも検索できます。
最大12文字(半角)まで入力できます。




- 5** 名前を選択します。
機能キーの上下を押して選択します。



- 6** 発信番号を選択します。
選択した電話帳の2～5番目の電話番号にかけたい場合は、機能キーの左右を押して選択します。



- 7**  ボタンを押します。
選択した番号がダイヤルされます。



ワンポイント


- フリガナ検索画面は、メインメニュー→<電話帳>→<電話帳>→「電話帳参照」→「フリガナ検索」を選択しても開きません。
- 電話帳を1件も登録していないときは、手順1で「登録ありません」と表示されます。
- <電話帳表示切替>で「5人」に設定してあるときは、手順5で5人の画面になります。(→P118)このときは、機能キーの上下を押して名前を選択した後、機能キーの中央を押すと手順5の1人画面になります。1人画面から、さらに機能キーの左右を押して[名前一覧に戻る]を選択すると、5人の画面に戻ります。
- 手順 6 で機能キーの左右を押すと登録してある電話番号以外に[名前編集]や[番号追加]などの電話帳編集機能も表示されます。(→P96-102)



◆アイコンで検索する

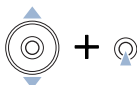
- 1 一覧表示画面にします。
電話帳ボタンを押します。



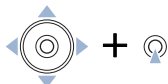
- 2  (クリア)を押します。



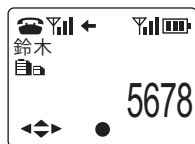
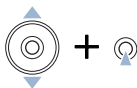
- 3 <アイコン検索>を選択します。



- 4 アイコンを選択します。




- 5** 名前を選択します。
機能キーの上下を押して選択します。



- 6** 発信番号を選択します。
選択した電話帳の2～5番目の電話番号にかけたい場合は、機能キーの左右を押して選択します。



- 7**  ボタンを押します。
選択した番号がダイヤルされます。



ワンポイント

- アイコン検索画面は、メインメニュー→<電話帳>→<電話帳>→「電話帳参照」→「アイコン検索」を選択しても開きません。
- 電話帳を1件も登録していないときは、手順1で「登録ありません」と表示されます。
- <電話帳表示切替>で「5人」に設定してあるときは、手順5で5人の画面になります。(→P118)このときは、機能キーの上下を押して名前を選択した後、機能キーの中央を押すと手順5の1人画面になります。1人画面から、さらに機能キーの左右を押して[名前一覧に戻る]を選択すると、5人の画面に戻ります。
- 手順 6 で機能キーの左右を押すと登録してある電話番号以外に[名前編集]や[番号追加]などの電話帳編集機能も表示されます。(→P96-102)

電話帳を修正する



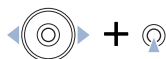
電話帳は、登録した名前の変更と番号の追加ができます。また、すでに登録されている電話番号を修正したり、1件ずつ削除することや電話帳をすべて削除することもできます。

◆名前を変更する

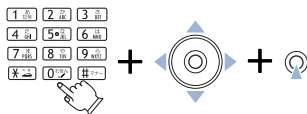
- 1 変更する名前を選択します。
P90-95の手順で選択できます。



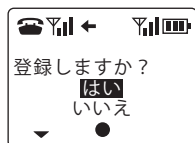
- 2 「名前編集」を選択します。
機能キーの左右を押して選択します。



- 3 名前やフリガナを変更します。
操作は新規登録の手順5~6と同じです。(→P85)



- 4 「はい」を選択します。



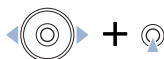


◆ 電話番号を追加する

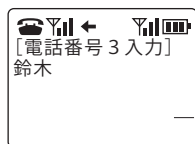
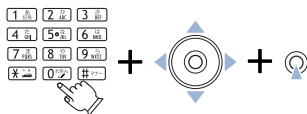
- 1 番号を追加する名前を選択します。
P90-95の手順で選択できます。



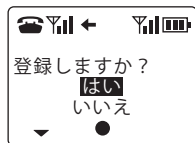
- 2 「番号追加」を選択します。
機能キーの左右を押して選択します。



- 3 電話番号を登録します。
空いている登録番号が表示されます。
登録操作は新規登録の手順7～8と同じです。(→P86)



- 4 「はい」を選択します。



フボポイント

- 電話番号5まで登録してある人の場合は、手順3で「登録できません(メモリアーバー)」と表示され番号を追加できません。



◆ 電話番号を変更する

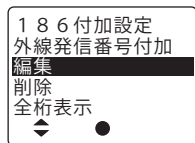
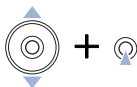
- 1 変更する番号を選択します。
P90-95の手順で選択できます。



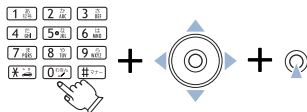
- 2 機能キーの中央を押します。



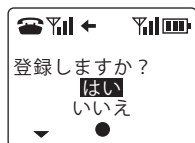
- 3 「編集」を選択します。



- 4 電話番号やアイコンを変更します。
以前の番号は [] (クリア) ボタンを長く (1秒以上) 押すと消去できます。
入力操作は新規登録の手順7~8と同じです。(→P86)



- 5 「はい」を選択します。





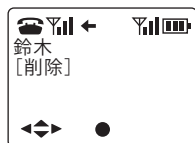
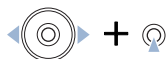
◆ 電話帳を削除する

登録した電話帳を1件ごと削除できます。

- 1 削除する電話帳を選択します。
P90-95の手順で選択できます。

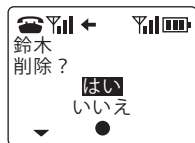
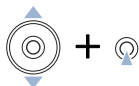


- 2 「削除」を選択します。
機能キーの左右を押して選択します。



3
基本
操作編

- 3 「はい」を選択します。





◆ 1つの電話番号のみ削除する

1件に複数の電話番号が登録してある場合、1つの番号のみ削除できます。

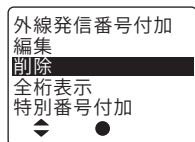
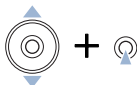
- 1 削除する番号を選択します。
P90-95の手順で選択できます。



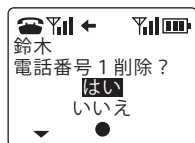
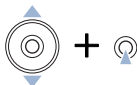
- 2 機能キーの中央を押します。



- 3 「削除」を選択します。



- 4 「はい」を選択します。





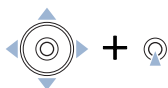
◆電話帳を全削除する

この操作を行うと、電話帳の全データが削除されますので、十分確認してから行ってください。

1 [メニュー]を選択します。



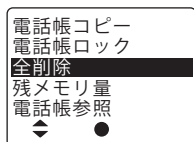
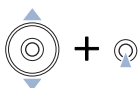
2 <電話帳>を選択します。



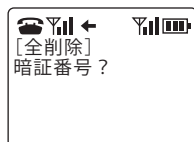
3 <電話帳>を選択します。



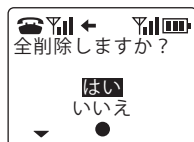
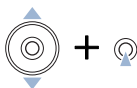
4 「全削除」を選択します。



5 暗証番号を入力します。



6 「はい」を選択します。



4

PBXの機能を利用する

PBX機能でできること	104
ソフトキーとは	104
PBX機能を設定する (ソフトキー)	106
有効になっている機能を確認する ..	106
PBX間のローミング機能を利用する	108

PBX機能でできること

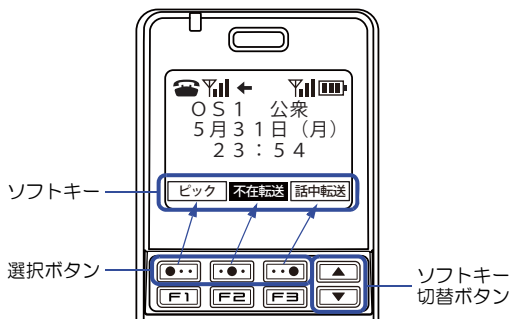


本電話機を事業所コードレスシステムで使用する場合、PBX(構内交換機)の元で発信や着信などのサービスを受けることになります。PBXには、ローミング機能やVoiceMail連動、転送/キャンプオンなどに対応しているものもあり、対応しているPBX機能については、本電話機でも利用することができます。

◆ソフトキーとは

ディスプレイの下部に表示される機能メニューで、VoiceMailや転送機能などのPBX機能やメインメニュー表示など、本電話機で利用できる機能を選択できます。

ソフトキーの使用方法



ソフトキー切替ボタンを押すと、ディスプレイに表示されているソフトキーの機能が切り替わります。

利用したい機能をソフトキーに表示させ、選択ボタンで決定します。3つの選択ボタンはそれぞれ、ディスプレイに表示されているソフトキーの位置(左、中央、右)に対応しています。

ソフトキーに表示されるサービスは、ソフトキーモードにより異なります。ソフトキーは、以下のモードで使用している場合に表示されます。

- OS1～OS3
- 屋内－公衆 公衆優先
- 屋内－公衆 屋内優先



フリップポイント


- ソフトキーに表示される各機能の表示位置(左/中央/右)は、ソフトキーモードの設定によって異なります。したがって、本章での設定手順のディスプレイ画面は、実際の画面と異なる場合があります。

PBX機能を設定する(ソフトキー)



「VoiceMail連動」、「転送/キャンプオン」、「割り込み」、「グルーピング」、「ホテル機能」を利用するには、ソフトキーモードの設定が必要です。また、PBX側での設定が必要なため、設定方法については工事・保守者にお問い合わせください。

◆有効になっている機能を確認する

PBX機能は、電話機のディスプレイに表示されているソフトキーで操作します。ソフトキーに表示されている機能を、ソフトキー切替ボタン  で確認してください。



ソフトキー

表示キー	機能
メニュー	機能メニューの選択画面を呼び出す
聞き取り	VoiceMailを聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	PHSと多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する
受話音量	受話音量を調節する

※「通話録音」「受話音量」「ウェイト」「会議」「割り込み」「割込拒否」は、発信および着信後に表示される機能です。



各機能で表示されるソフトキー

機能項目名	表示されるソフトキー
VoiceMail連動	[聞き取り][通話録音][録音転送][受話音量]
転送/キャンプオン	[不在転送][話中転送][圏外転送][不応答転][転先不在] [キャンプ][会議][受話音量]
割り込み	[着信拒否][割込拒否][割り込み][ウェイト][受話音量]
グルーピング	[ピック][シェア][パーク][受話音量]
ホテル機能	[客室状態][発信制限][着信制限]



ワンポイント

- PBXで対応していない機能は利用できません。PBXで対応しているかどうか確認してから機能を設定してください。
- 各機能の操作、設定方法については、PBX側のマニュアルを参照してください。

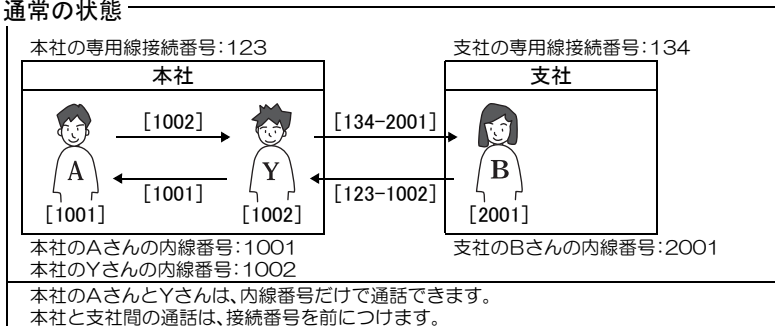
PBX間のローミング機能を利用する

本電話機は通常、1つのPBX(構内交換機)の元で使用するため、他の会社や事業所では使用できません。しかし、PBX間ローミング機能を利用すれば、他の会社や事業所に出かけた場合でも、そこに設置されたPBXの内線電話機として使用することができます。この場合、それぞれのPBXがローミング機能に対応している必要があります。

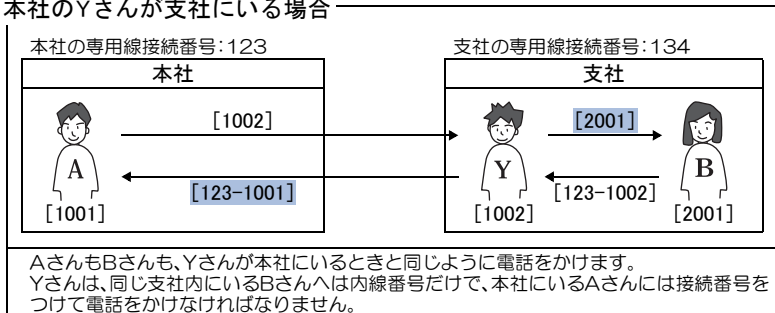
ローミング機能を利用すると、次のような便利な使いかたができます。

例) 本社と支社でPBX間ローミングをしている場合の使用例

通常の状態



本社のYさんが支社にいる場合



※ PBXによっては、この機能は使えません。お買い求めになった販売店等にお問い合わせください。



● ローミング中は、待受画面にRMと表示されます。



5

より便利に使う

こんな機能があります	110	その他の機能.....	136
暗証番号を利用する	112	液晶の表示濃度を調整する.....	136
暗証番号を利用する場面.....	112	設定をリセットする.....	137
暗証番号を設定・変更する.....	112	サブアドレスで電話をかける.....	138
音/バイブレータ機能.....	114	電話帳を転送する.....	141
マナーモードの状態を切り替える..	114	Fキー設定.....	143
キータッチトーン.....	116	クイック機能.....	150
エコーキャンサ.....	117	エコサプレス.....	151
電話帳機能.....	118	ハンドオーバー通知音を設定する.....	152
電話帳の表示を切り替える.....	118	登録内容をリセットする.....	153
電話帳をロックする.....	119	ボタン操作の機能.....	154
時間表示機能.....	120	キーロック.....	154
通話中の通話時間表示をする.....	120	パスワードロック.....	155
通話時間・積算時間を確認する.....	121	発信番号付加機能.....	156
時計機能.....	122	トランシーバとして使う.....	157
スケジュールを登録する.....	122	トランシーバモードでできること..	157
スケジュールを確認する.....	124	トランシーバ登録する.....	158
スケジュールを編集する.....	126		
時計表示を変更する.....	128		
留守録/音声メモ機能.....	129		
留守録/ドライブをONにする.....	129		
音声メモを録音する.....	132		
留守録/音声メモを消去する.....	134		

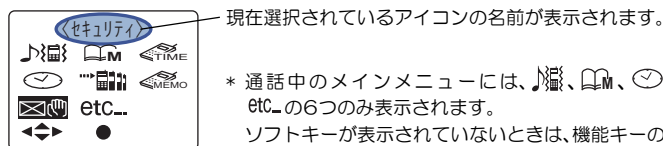
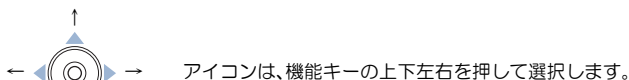
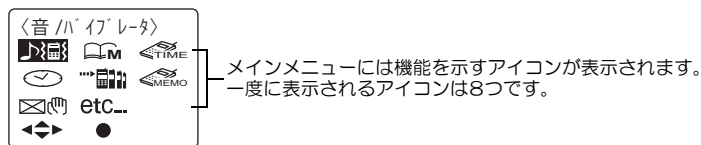
こんな機能があります

より便利に使う

本電話機の機能は、ソフトキーの[メニュー]を選択したときに表示されるメインメニューから選択できます。

～メインメニュー～

メニュー ↓ ソフトキーの[メニュー]を選択するとメインメニューが表示されます。



* 通話中のメインメニューには、音楽、電話帳、時計、着信履歴、留守録の6つのみ表示されます。

ソフトキーが表示されていないときは、機能キーの中央を押すとメインメニューが表示されます。

こんな機能があります

5
活用編

アイコン	アイコン名	機能
	音/パイプレータ	着信音や着信音量、パイプレータの設定をします。
	電話帳	電話帳を登録したり参照できます。
	時間表示	通話時間、積算時間の表示をします。
	時計	時計設定の他、スケジュールを登録したり参照できます。
	着信/発信履歴	着信履歴、リダイヤルを表示したり利用できます。
	留守録/音声メモ	留守録・音声メモの録音・消去・設定をします。
	セキュリティ	パスワードロックやキーロックの設定をします。
etc...	その他	上記以外の機能(液晶の濃度や暗証番号、オフィスや家庭で使う機能など)の設定をします。

機能の設定は、機能キーで行います。基本的な操作は、

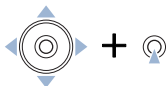
- ①機能キーの上下左右を押して項目を選択し、
②機能キーの中央を押して確定する] の繰り返しです。

操作例) <時計表示>をOFFにする

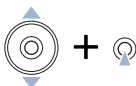
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



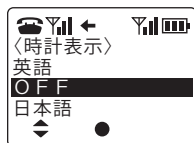
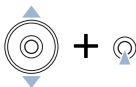
- 2** <時計>を選択します。



- 3** <時計表示>を選択します。



- 4** 「OFF」を選択します。



設定完了

設定完了後メニューが表示されているときは (戻る) を押すと待受画面に戻ります。

暗証番号を利用する

etc...

より便利に使う

本電話機の機能には、暗証番号が必要なものがあります。

◆暗証番号を利用する場面

以下の機能を利用するときは、暗証番号が必要です。

暗証番号の設定・変更(→P112)	積算通話時間のリセット(→P121)
電話帳全削除(→P101)	発信者番号通知(→P39)
電話帳ロック(→P119)	電話帳転送(→P141)
パスワードロックの解除(→P155)	登録リセット(→P153)
設定リセット(→P137)	

暗証番号は、ご購入時には「0000」になっています。いたずら防止のため、**<暗証番号変更>**でお好きな番号へ変更してください。



重要

- いたずら防止のため、暗証番号は定期的に変更していただくことをお勧めします。なお、設定した暗証番号は、メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号をお忘れになると、電話をかけることができなくなる事もあります。その場合、故障修理扱い(有料)となります。

暗証番号を利用する

◆暗証番号を設定・変更する

変更する場合は以前の暗証番号も必要です。ご購入時には「0000」になっています。

1

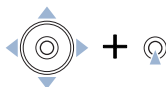
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



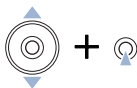
2

<セキュリティ>を選択します。

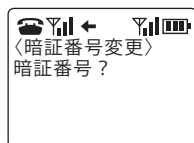


5
活用
編

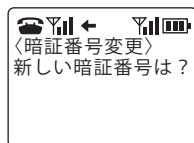
3 <暗証番号変更>を選択します。



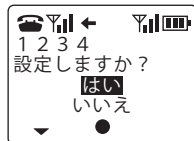
4 現在の暗証番号を入力します。



5 新しい暗証番号を入力します。



6 登録するときは「はい」を選択します。



重要

- 設定した暗証番号は、メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 手順4の暗証番号入力画面で何も入力せずに10秒程放置しておくと「暗証番号が違います」と表示され手順3に戻ります。

音/バイブレータ機能



より便利に使う

メインメニューの<音/バイブレータ>機能では、以下の項目が設定できます。

着信音量の選択(→P69)	マナーモードの選択(→P114)
着信音の選択(→P67)	エンキーアンサのON/OFF(→P117)
バイブレータ着信の設定(→P72)	受話音量の変更(→P65)
キータッチトーンのON/OFF(→P116)	

◆マナーモードの状態を切り替える

マナーモードの着信状態をバイブレータまたはサイレントのどちらかに設定することができます。

1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



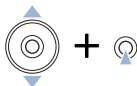
2

<音/バイブレータ>を選択します。



3

<マナーモード選択>を選択します。

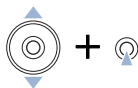


音/バイブレータ機能

5
活用編

4 着信状態を選択します。

マナーモード時に、設定にした状態で着信ようになります。



	バイブレータ	サイレント
着信音	バイブレータ	消音
キータッチトーン	消音	消音
警告音	消音	消音
アラームメッセージ音	バイブレータ	消音



- 「バイブレータ」にするとマナーモード設定時にディスプレイに📞と♡が表示されます。
「サイレント」にするとディスプレイにSと♡が表示されます。



◆キータッチトーン

ボタン操作の確認音を出す/出さないを設定します。

1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



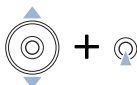
2

<音/バイブレータ>を選択します。



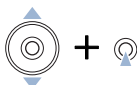
3

<キータッチトーン>を選択します。



4

「ON」または「OFF」を選択します。



- キータッチトーンとクイック機能(→ P150)の両方を「ON」に設定すると、電話機を充電器に置いたとき「ピッ」という確認音が鳴ります。



◆ エニーキーアンサ

「エニーキーアンサ」をONにしておくと、着信時にダイヤルボタンでも応答できます。

1 [メニュー]を選択します。

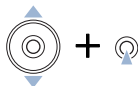
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



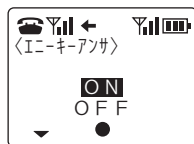
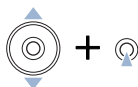
2 <音/バイブレータ>を選択します。



3 <エニーキーアンサ>を選択します。



4 「ON」または「OFF」を選択します。



電話帳機能



より便利に使う

メインメニューの<電話帳>機能では、以下の項目が設定できます。

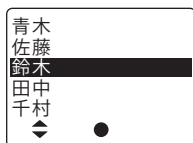
電話帳… 電話帳参照(→P90)/新規登録(→P84)/電話帳コピー(→P88)/
電話帳ロック(→P119)/全削除(→P101)/残メモリ量(→P87)

電話帳表示切替(→P118)

◆電話帳の表示を切り替える

電話帳一覧に表示する人数を5人または1人のどちらかに切り替えられます。

5人表示画面



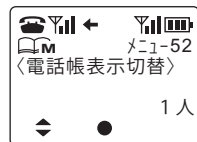
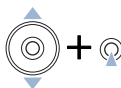
1人表示画面



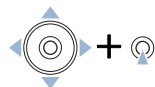
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



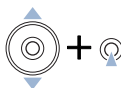
- 3 <電話帳表示切替>を選択します。



- 2 <電話帳>を選択します。



- 4 「1人」または「5人」を選択します。



- 5人表示に設定していて電話帳に4人のみ登録している場合、表示画面は3人の名前しか表示されません。4人目を表示させるときはスクロールして確認してください。



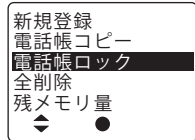
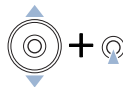
◆ 電話帳をロックする

電話帳は他の人に見られないよう、ロックをかけることができます。

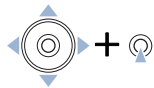
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



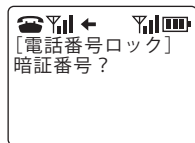
- 4** 「電話帳ロック」を選択します。



- 2** <電話帳>を選択します。



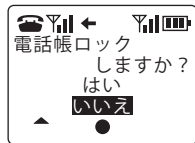
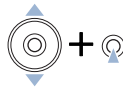
- 5** 暗証番号を入力します。



- 3** <電話帳>を選択します。



- 6** 「はい」または「いいえ」を選択します。
ロックを解除するときは「いいえ」を選択します。



重要

- 電話帳ロックを「はい」に設定すると「リダイヤル」(→ P62)は削除されますのでご注意ください。



ワンポイント

- 電話帳をロックした状態で電話帳の操作をしようとする「電話帳ロック中です」と表示され、電話帳を参照したり(→P90-95)登録・修正(→P84, 96)ができなくなります。

時間表示機能



より便利に使う

メインメニューの〈時間表示〉機能では、以下の項目が設定できます。

通話時間の表示(→P121)	積算通話時間のリセット(→P121)
積算通話時間の表示(→P121)	通話中の時間表示のON/OFF(→P120)

◆通話中の通話時間表示をする

通話中に通話時間を表示させるかさせないかを設定できます。

1

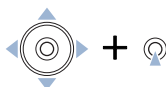
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



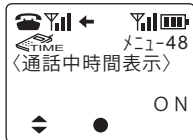
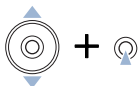
2

〈通話時間表示〉を選択します。



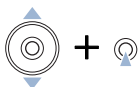
3

〈通話中時間表示〉を選択します。



4

「ON」または「OFF」を選択します。



時間表示機能

5
活用編

◆ 通話時間・積算時間を確認する

通話時間は直前の通話時間を、積算時間は今までの通話時間の合計を確認できます。

1

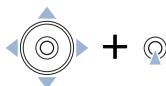
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2

<通話時間表示>を選択します。



3

<通話時間>または**<積算時間>**を表示します。



通話時間すべてのモードの通話時間を表示します。

積算時間公衆のみの積算時間を表示します。

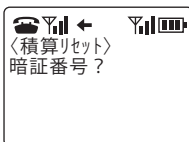

重要

- 表示される通話時間と積算時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。

PHSサービスへ加入していない場合は、積算時間は表示されません。


ポイント

- 手順3で確認後**<積算リセット>**を選択すると通話時間、積算時間がリセットされます。
 <積算リセット>には暗証番号が必要です。
 通話時間は、電源を切ってもリセットされます。
 PHSサービスへ加入していない場合は、積算リセットは表示されません。



時計機能



より便利に使う

メインメニューの<時計>機能では、以下の項目が設定できます。

スケジュールの登録(→P122)
日付時刻設定(→P41)
時計表示の設定(→P128)

◆スケジュールを登録する

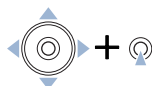
スケジュールを登録しておく、予定時刻にメッセージやアラームでスケジュールをお知らせします。

スケジュールは1日複数件、合計50件まで登録できます。

- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



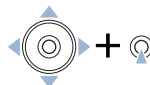
- 2 <時計>を選択します。



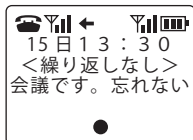
- 3 <スケジュール機能>を選択します。



- 4 目的の日付を選択します。

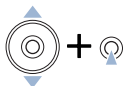


- 5 スケジュールの内容が表示された場合は、機能キーの中央を押します。



スケジュールが1件も登録されていない場合はこの画面が表示されません。手順7に進んでください。

- 6 「新規」を選択します。



時計機能

5
活用編

7 時刻を入力します。



8 繰り返し設定の条件を選択します。

9 メッセージを入力します。
メッセージを全角27(半角54)文字以内で入力します。

10 アラーム音を選択します。



スケジュールが登録されます。
スケジュール登録されている日
には★印が付きます。



ワンポイント

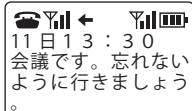
- 「日付時刻設定」で日付、時刻が設定されていないとスケジュールの登録ができません。
- 「日付時刻設定」で登録されている日付、時刻より古い日付、時刻の場合、スケジュールの登録ができません。
- スケジュールを登録すると、ディスプレイに☑マークが表示されます。
- 手順10で☑(クリア)を押してもスケジュールは登録されます。



◆スケジュールを確認する

予定時刻に確認する

スケジュールを登録した予定時刻になると設定している動作でスケジュールをお知らせします。



メッセージの場合

- ・アラーム音:5分間繰り返し鳴ります。どれかキーを押すと止まります。<着信音量>で設定した音量でアラームが鳴ります。
- ・メッセージ表示:アラーム停止後、 (クリア)を押すと表示が消えて待受画面になります。また、待受画面のマークも消えます。



フォンポイント

- 通話中に予定時刻になった場合、アラーム音の設定に関わらず、時刻アラーム音が3回鳴り、メッセージが表示されます。
- アラーム音が鳴っているときに電話がかかってきた場合は、アラーム音が止まります。
- 着信音量を「サイレント」に設定している場合はレベル1の音量で、「ステップ」に設定している場合はレベル2の音量でアラームが鳴ります。
- バイブレータ設定が「ON」になっている場合はアラーム音と振動でお知らせします。
- マナーモード中の場合は、マナーモードの設定により動作が異なり、バイブレータ設定時はアラームが鳴らず5分間振動します。サイレント設定時はアラームが鳴りません。
- 電源を切っている場合は、スケジュールをお知らせしません。

一覧から選択する

予定時刻以外でも、一覧から表示して確認できます。

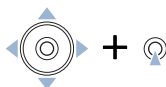
1

[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



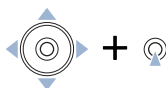
2 <時計>を選択します。



3 <スケジュール機能>を選択します。



4 目的の日付を選択します。



スケジュールが確認できます。

2件以上のスケジュールが登録されているときは機能キーの上下を押して切り替えます。

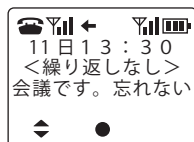


- スケジュール表示を終了するときは [戻る] を押します。
- 手順4のスケジュール確認画面で機能キーの上下を押すと、他の日に登録されているスケジュールも順に表示されます。



◆ スケジュールを編集する

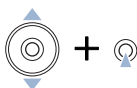
- 1 P124-125の手順1~4の操作でスケジュールを選択して表示させます。



- 2 機能キーの中央を押します。



- 3 機能を選択します。



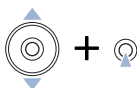
新規 その日に別のスケジュールを登録します。

選択後は、新規登録の操作(→P123・手順7以降)と同じです。

編集 表示されているスケジュールの内容を編集したり、移動・コピーします。(手順4へ進む)

消去 スケジュールを消去します。(→P127)

- 4 機能を選択します。



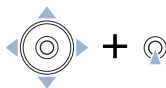
移動 他の日にスケジュールを移動します。(手順5へ進む)

コピー 他の日にスケジュールをコピーします。(手順5へ進む)

修正 スケジュールの内容を変更します。選択後は、新規登録の操作(→P123・手順7以降)と同じです。

5 コピー・移動先の日付を選択します。

スケジュールがコピー・移動されます。

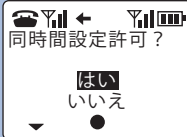


6 (クリア)を押します。



重要

- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを設定しようとした場合は、右のような画面が表示されます。設定する場合は「はい」を選択します。
※ 同時に設定できるのは「毎週繰り返し」と「1回のみ」のスケジュールの組合せと、「毎日繰り返し」と「1回のみ」のスケジュールの組合せのみです。この場合「1回のみ」のスケジュールが優先されます。
- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録した場合は、予定時刻になると「1回のみ」のスケジュール内容を表示します。アラームが鳴っている間に、(クリア)を押すと「繰り返し」のスケジュール内容を表示します。



ワンポイント

- 手順3で消去を選択するとスケジュールを消去できます。「消去」では消去方法が次の3つの中から選択できます。
前日 前日までのスケジュールをすべて消去します。
1件 選択しているスケジュールのみ消去します。
全件 すべてのスケジュールを消去します。



◆ 時計表示を変更する

1

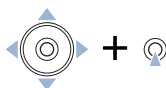
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



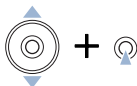
2

<時計>を選択します。



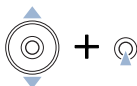
3

<時計表示>を選択します。



4

時計表示の状態を選択します。



日本語.....「12月31日(月)」と、月・日・曜日を表示します。

英語.....「31/12/01 Mon」と、日・月・年・曜日を表示します。

OFF..... 時計表示をOFFにします。



フポイント

● 日付や時刻は、手順3で<日付時刻設定>を選択すると変更できます。

留守録 / 音声メモ機能



より便利に使う

留守録 / 音声メモ機能

5
活用編

メインメニューの〈留守録/音声メモ〉機能では、以下の項目が設定できません。

再生(→P131, 134)	待受中音声メモの録音(→P133)
通話中音声メモの録音(→P132)	留守録/ドライブ(→P129)
消去(→P134)	

◆留守録 / ドライブをONにする

留守録/ドライブは、電話に出られないときにお客様に変わって応答し、録音しておく機能です。

1件15秒以内、3件まで録音できます。

着信してから応答するまでの時間を1～30秒の間で設定できます。

1

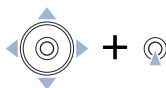
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



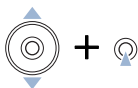
2

〈留守録/音声メモ〉を選択します。



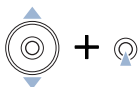
3

〈留守録/ドライブ〉を選択します。

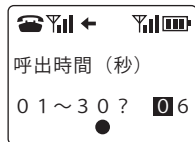
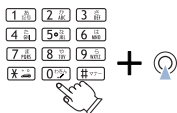



4 「ON」を選択します。

留守録/ドライブを利用しないときは「OFF」を選択します。「OFF」の場合は、ここで設定を終了します。







5 「呼出時間」を入力します。



「留守録/ドライブ」を「ON」にするとディスプレイにが表示されます。


～電話がかかってくると～

- ・「留守録 / ドライブ」を「ON」にした状態で電話がかかってくると設定した時間経過後、自動的に応答します。
- ・相手には「ただいま電話に出ることができません。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」という応答メッセージが流れます。
- ・応答メッセージ再生中や留守録録音中でもを押すと電話に出られます。
- ・既に留守録が3件録音されている場合は録音できませんので自動的に応答しません。
- ・留守録が録音されると、が件数に変わります。1件録音されると, 2件録音されるとになります。








● 留守録/ドライブは、ボタンを長押しすることでもONにすることができます。

～留守録を再生するには～

- 1** 待受画面で、 (メモ) を長く (1秒以上) 押します。
最新の録音 (留守録や音声メモ) を再生します。



- 再生は  (クリア) または  を押すと止まります。
 (クリア) を押した場合、メニューの <録音データ再生> が表示されます。
- 相手の電話番号や名前が表示されているときは、 を押すと電話をかけられます。
- 再生中に機能キーの中央を押すと再生中のメモを消去できます。
- 2件目以降の録音 (留守録や音声メモ) を再生するには、1件目の再生中に  (メモ) を押します。



- 録音できる留守録は3件です。不要な留守録は消去してください。(→P134)
- 留守録は、メインメニュー→<留守録 / 音声メモ>→<録音データ再生>を選択しても再生できます。



◆音声メモを録音する

音声メモには、通話中の相手の声や待受時に自分の声を録音できます。録音は15秒以内、1件のみです。

～通話中に録音する～

1

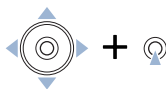
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2

<留守録/音声メモ>を選択します。



3

<音声メモ>を選択します。

録音を開始します。15秒後または機能キーの中央を押すと録音が終了します。

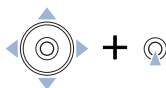


～待受時に録音する～

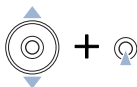
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <留守録/音声メモ>を選択します。




- 3** <待受中音声メモ>を選択します。
録音を開始します。15秒後または機能キーの中央を押すと録音が終了します。







- 録音時間が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
- 手順3で<録音データ再生>を選択すると、録音されている最新の用件を再生します。他の録音を再生するには、前のメモの再生中に[メモ] (メモ) を押します。
- 録音できる音声メモは1件です。不要な音声メモは消去してください。(→P134)
- 録音中に[クリア] (クリア) を押しても録音が終了します。



～音声メモを再生するには～

- 1** 待受画面で、 (メモ) を長く (1秒以上) 押します。
最新の録音 (留守録や音声メモ) を再生します。



- 再生は  (クリア) または  を押すと止まります。
 (クリア) を押した場合、メニューの <録音データ再生> が表示されます。
- 再生中に機能キーの中央を押すと再生中のメモを消去できます。
- 2件目以降の録音 (留守録や音声メモ) を再生するには、1件目の再生中に  (メモ) を押します。



フоновイント

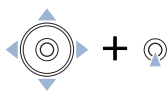
- 音声メモは、メインメニュー → <留守録 / 音声メモ> → <録音データ再生> を選択しても再生できます。

◆ 留守録 / 音声メモを消去する

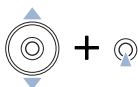
- 1** [メニュー] を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



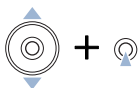
- 2** <留守録 / 音声メモ> を選択します。



3 <録音データ消去>を選択します。

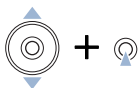


4 消去する録音を選択します。



録音が1件のみの場合はこの画面が表示されません。手順5へ進んでください。

5 「はい」を選択します。 録音を消去しないときは「いいえ」を選択します。



● 再生中に機能キーの中央を押しても消去できます。

メインメニューの<その他>の機能では、以下の項目が設定できます。

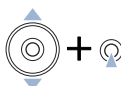
液晶濃度調整(→P136)	電話帳転送(→P141)
暗証番号変更(→P112)	Fキー設定(→P143)
設定リセット(→P137)	クイック機能(→P150)
トランシーバ登録(→P158)	エコサプレス設定(→P151)
サブアドレス設定(→P138)	モードネーム設定(→P48)
外線発信番号登録(→P51)	ハンドオーバ通知音(→P152)
発信番号登録(→P139)	登録リセット(→P153)

◆液晶の表示濃度を調整する

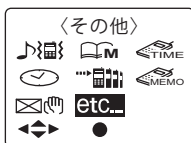
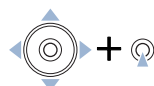
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3** <液晶濃度調整>を選択します。



- 2** <その他>を選択します。



- 4** 濃度を選択します。



調整後は (クリア)で前の画面に戻ります。

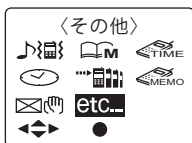
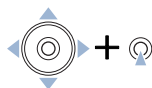
◆ 設定をリセットする

機能や状態をメニュー機能一覧のご購入時の設定に戻します。(→P162)

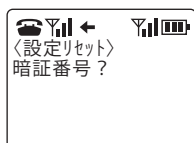
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



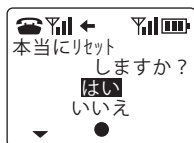
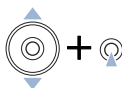
- 2** <その他>を選択します。



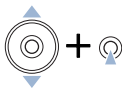
- 4** 暗証番号を入力します。



- 5** 「はい」を選択します。
リセットしないときは「いいえ」を選択します。



- 3** <設定リセット>を選択します。



フリップ

- 登録した電話帳やスケジュールは設定リセットでは消去されません。登録リセットで消去できます。(→P153)
- 以下の設定をリセットします。
着信音量/着信音選択/バイブレータ設定/キータッチトーン/マナーモード選択/エンキーアンサ/受話音量/電話帳ロック/電話帳表示切替/通話中時間表示/時計表示/留守録/ドライブ/発信者番号通知/液晶濃度調整/サブアドレス設定/Fキー設定/クイック機能/エコーサプレッス機能/ハンドオーバ通知音/通話中マナー/マナーモード

◆サブアドレスで電話をかける

PHSサービスを利用してISDN端末に電話をかける場合は、サブアドレスを指定できます。

サブアドレスを指定して電話をかける場合は、＜サブアドレス設定＞を「ON」にしてください。

サブアドレス設定をONにする

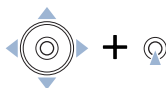
1

【メニュー】を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。


2

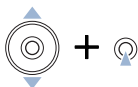
＜その他＞を選択します。


5

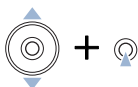
活用編

3

＜サブアドレス設定＞を選択します。


4

「ON」を選択します。



発信番号を登録する

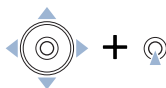
サブアドレスを指定して電話をかけるISDN端末の電話番号を登録しておく、電話をかけるときに「サブアドレス入替」機能が利用できます。

1 [メニュー]を選択します。

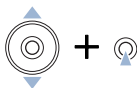
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



2 <その他>を選択します。

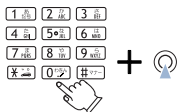


3 <発信番号登録>を選択します。



4 ISDN端末の発信番号を入力します。

発信時に指定するサブアドレスと合わせて24桁以内になるように入力します。



- 登録した番号を利用してサブアドレスを指定するには、「サブアドレス入替」機能で電話をかけます。(→P140)

サブアドレス入替機能で電話をかける

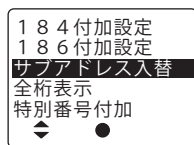
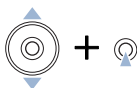
1 サブアドレスを入力します。



2 機能キーの中央を押します。



3 「サブアドレス入替」を選択します。




4 を押します。

<発信番号登録>で登録した電話番号に「*」と入力したサブアドレスが付加されてダイヤルされます。



重要

- 「サブアドレス入替」で電話をかけるには、<サブアドレス設定>を「ON」にし、かつ<発信番号登録>でISDN端末の電話番号を登録しておく必要があります。
- OS(事業所コードレスシステム)モードでは「サブアドレス入替」は表示されません。
- <発信番号登録>でISDN 端末の電話番号を登録していないときは次の手順でサブアドレスを指定できます。
 - (1) 「相手の電話番号」+「*」+「サブアドレス」をダイヤルします。
 - (2) を押します。

◆電話帳を転送する

一方の電話機の電話帳データを別の電話機へ転送することができます。双方の電話機を1m以内の距離におき、受信側から先に操作します。受信側の準備ができたなら、1分以内に送信側の操作をしてください。

受信側の操作

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <その他>を選択します。



- 3** <電話帳転送>を選択します。



- 4** 「受信」を選択します。



- 5** 呼出番号を入力します。
1～7999の任意の数字を入力します。



受信準備が整い、「受信中」と表示されます。

正常に送受信が終了すると「受信完了」と表示されます。「受信できません」と表示された場合は最初からやり直してください。



重要

- 電話帳転送は受信側の電話帳データをすべて消去してから操作することをおすすめします。
- 登録可能件数や項目、1件あたりの登録可能番号のちがいなど、相手の機種によっては本電話機と電話帳データをうまくやりとりできない場合があります。登録可能件数等の少ない機種にあわせて転送してください。

送信側の操作

受信側の準備の後、1分以内に操作を終えてください。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <その他>を選択します。



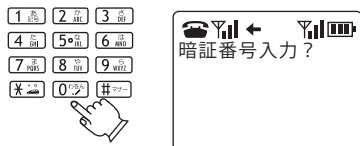
- 3** <電話帳転送>を選択します。



- 4** 「送信」を選択します。



- 5** 電話機の暗証番号を入力します。



- 6** 受信側と同じ呼出番号を入力します。



「送信中」と表示され送信が始まります。
正常に送受信が終了すると「送信完了」と表示されます。「送信できません」と表示された場合は最初からやり直してください。



重要

- 呼出番号は、送信側、受信側とも同じ番号を設定してください。
- 電話帳ロック時は転送できません。
- 一部の記号(♫、📖、🕒、📝)がスペースに変わります。

◆Fキー設定

フレキシブルキー(Fキー)に電話番号を設定することができます。

F1~F3それぞれに、1つずつ事業所コードレスシステムの特番やよく電話する相手番号を設定することができます。

Fキーに番号を新規設定する

1

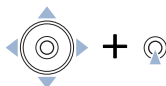
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



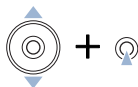
2

<その他>を選択します。

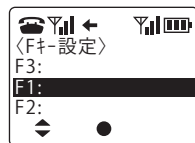
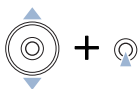


3

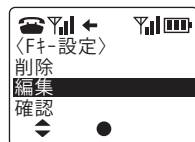
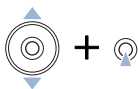
<Fキー設定>を選択します。



4 設定したいキーを選択します。



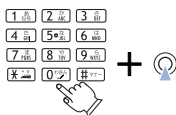
5 <編集>を選択します。



6 Fキーに設定する電話番号を入力します。

Fキーに電話番号が設定されます。

設定後、Fキーを押すことにより設定した電話番号に発信することができます。



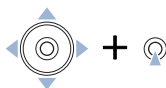
- デュアルモードの場合、優先しているモード以外に発信することができません。モードを切り替えてから使用してください。

Fキー設定を確認する

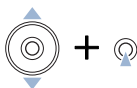
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



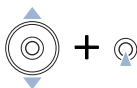
- 2** <その他>を選択します。



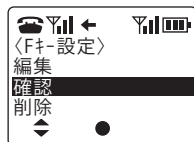
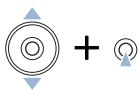
- 3** <Fキー設定>を選択します。



- 4** 設定を確認したいキーを選択します。



5 <確認>を選択します。



Fキーに設定されている電話番号を確認することができます。



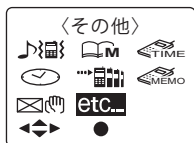
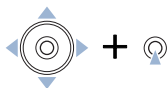
Fキー設定を編集する

1 [メニュー]を選択します。

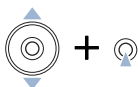
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



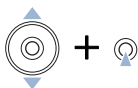
2 <その他>を選択します。



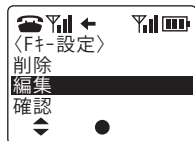
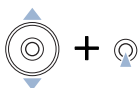
3 <Fキー設定>を選択します。



4 編集したいキーを選択します。



5 <編集>を選択します。



6 Fキーに設定する電話番号を変更します。

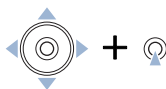


Fキー設定を削除する

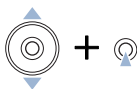
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



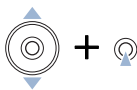
- 2 <その他>を選択します。



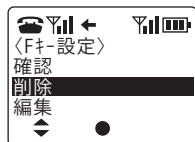
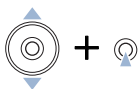
- 3 <Fキー設定>を選択します。



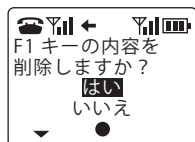
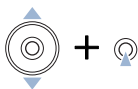
- 4 設定を削除したいキーを選択します。



5 <削除>を選択します。



6 「はい」を選択します。



◆クイック機能

電話機を充電器に置いた状態で着信した場合、電話機を取るだけで応答できるようになります。通話を終了するときも、充電器に置くだけで通話が終了し待受画面に戻ります。

1

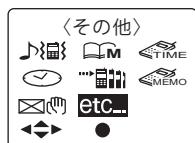
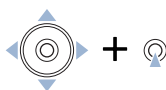
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



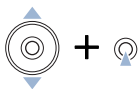
2

<その他>を選択します。



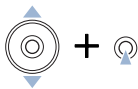
3

<クイック機能>を選択します。



4

「ON」または「OFF」を選択します。



◆ エコーサプレス

通話していて、自分の声が少し遅れて響くようなとき、エコーサプレスをONすることで現象を解消できます。

1

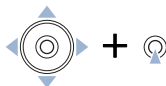
[メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



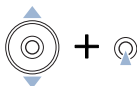
2

<その他>を選択します。



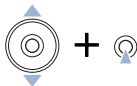
3

<エコーサプレス設定>を選択します。



4

「ON」または「OFF」を選択します。



重要

- エコーサプレスをONにした状態で相手と同時に話すと、音が途切れる場合があります。

◆ハンドオーバ通知音を設定する

事業所コードレスシステムモードでアンテナの切り替えがスムーズにできない場合、切り替え時に「プップッ」と鳴らすように設定します。

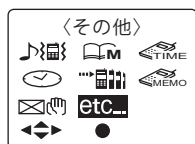
1

「メニュー」を選択します。

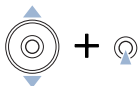
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。


2

〈その他〉を選択します。

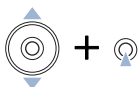

3

〈ハンドオーバ通知音〉を選択します。


4

「ON」または「OFF」を選択します。

「ON」にすると、アンテナ切り替え時に「プップッ」と鳴ります。



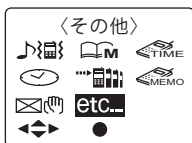
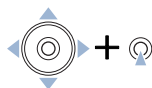
◆登録内容をリセットする

登録した内容を消去します。

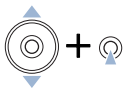
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



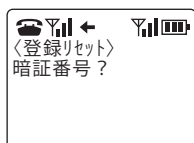
- 2** <その他>を選択します。



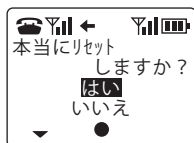
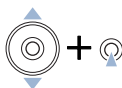
- 3** <登録リセット>を選択します。



- 4** 暗証番号を入力します。



- 5** 「はい」を選択します。
リセットしないときは「いいえ」を選択します。



ワンポイント

- 以下の内容を消去します。
電話帳／スケジュール／リダイヤル／着信履歴／モードネーム／留守録／音声メモ／
通話時間／積算時間／外線発信番号／発信番号

ボタン操作の機能



より便利に使う

直接のボタン操作で、以下の機能が設定できます。

電話帳参照: [☐] (→P90)	モード選択: [☐] (モード)長押し(→P46)
マナーモード: [☐]長押し(→P71)	接続先一時変更: [☐] (モード)(→P47)
キーロック: [☐]長押し(→P154)	ポーズ入力: [☐] (→P55)
パスワードロック: [☐]後[☐]長押し(→P155)	発信番号付加機能: 番号+[☐] (→P156)
留守録/ドライブ: [☐]長押し(→P129)	

◆キーロック

移動時の誤ったボタン操作を防止する機能です。

キーロックを設定すると、電話を受ける [☐] と切る [☐]、機能キーの中央を長押し(無効設定の解除)および電源を切る以外操作ができなくなります。

キーロックに設定する

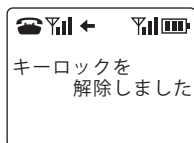
- 1 待受画面で機能キーの中央を長く(1秒以上)押します。



ディスプレイに「キーロック中」が表示されます。キーロック中に電話を受けの場合は、[☐] を押します。

キーロックを解除する

- 1 機能キーの中央を長く(1秒以上)押します。



待受画面に戻ります。



- キーロックは、メインメニュー→<セキュリティ>→<キーロック>を選択しても設定できます。
- キーロックは、電源を切っても解除されます。
- キーロックに設定する場合、設定する前に機能キーの上下左右を押すなど、ボタン操作をしないでください。

ボタン操作の機能

5
活用編



◆パスワードロック

他の人に操作されないように、ボタン操作を制限する機能です。パスワードロックに設定すると、電話を受ける(☎)と切る(☎)、通話中の受話音量調節(機能キーの上下)と(☎)(マナー)、ダイヤルボタン、(録音)(モード)、および電源を切る以外操作ができなくなります。解除するには暗証番号が必要ですので注意してください。

パスワードロックに設定する

- 1 「メニュー」を選択した後、(☎)を長く(1秒以上)押します。



ディスプレイに「パスワードロック中」の文字が表示されます。



フポイント

- パスワードロックは、メインメニュー→<セキュリティ>→<パスワードロック>を選択しても設定できます。

パスワードロックを解除する

- 1 暗証番号を入力します。



- 2 機能キーの中央(📞)を押します。
しばらくすると待受画面に戻ります。



重要

- パスワードロックの設定は、電源を切っても解除されません。
- パスワードロック中は、緊急通報(110番、118番、119番)もご利用できません。

◆ 発信番号付加機能

発信先の電話番号を表示した状態で機能キーの中央を押すことで指定できる機能です。

1 相手先の電話番号を入力します。

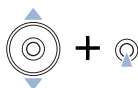
電話帳や着信 / 発信履歴から検索することもできます。



2 機能キーの中央を押します。



3 機能を選択します。



186付加設定
サブアドレス入替
全桁表示
特別番号付加
付加設定なし

全桁表示	22桁を超えている電話番号の全桁を表示します。
外線発信番号付加	<外線発信番号登録>で登録してある外線発信番号を付加します。
特別番号付加	入力した番号を付加します。
付加設定なし	付加されている設定を取り消します。
184付加設定 ※	「184」(発信者番号非通知)を付加します。
186付加設定 ※	「186」(発信者番号通知)を付加します。
サブアドレス入替	<発信番号登録>で登録した番号を付加します。

※ PHSサービスを利用して電話をかけるときのみに有効です。



- 表示される機能は、有効となっているモードや他の機能の設定などで表示されない場合があります。例えば、「サブアドレス入替」は、<サブアドレス設定>が「ON」のときのみ表示されます。(→P138)
- 付加される番号は、表示されている電話番号の前に自動的に付きます。

トランシーバとして使う



より便利に使う

トランシーバとして使う



5
活用
編

トランシーバ通話は、両方とも同じ、事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録されている電話機どうしでのみ利用できます。それぞれの電話機を「トランシーバモード」に設定すれば、登録先の接続装置等のない場所でも電話機どうし(2台)でお話しいできます。(3台以上で同時に通話することはできません。)



通話できる距離は見通し距離で約100m以内です。

◆トランシーバモードでできること

相手を呼び出す

- (1)  を押し、続けて相手の内線番号を入力します。
- (2) 接続されたらお話しします。
- (3) お話しが終わったら  を押します。

呼び出しを受ける

- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2)  を押します。
- (3) お話しが終わったら  を押します。




重要

- 電波環境の悪い場所では、100m 以内でも通話が切れることがあります。また、電波が届く範囲から外れても通話が切れます。
- 通話中、3分ごとに電波が途切れて通話が切れたようになりますが、「プップッ…」という音の後、再度通話できるようになります。



ポイント

- トランシーバモードで呼び出す際は、事業所コードレスシステムモードで設定されている内線番号で呼び出せませんが、<トランシーバ登録>で呼び出し番号を設定することもできます。(→P158)
- トランシーバモードの待受中はアンテナマーク()は表示されません。

◆トランシーバ登録する

トランシーバ専用の呼び出し番号を登録できます。

登録は、通話する双方の電話機で同時に行います。双方の電話機を1m以上の距離におき、受信側から先に操作します。受信側の準備ができれば、1分以内に送信側の操作をしてください。

途中、暗証番号を入力しますが、この番号は双方の確認のための番号なので、電話機本体の暗証番号ではなく、任意の番号を選び、2台に同じ番号を入力してください。

受信側の操作

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 4** 「登録」を選択します。



- 2** <その他>を選択します。



- 5** 「受信」を選択します。



- 3** <トランシーバ登録>を選択します。



6 任意の暗証番号を4桁で入力します。



この暗証番号はトランシーバ登録のための一時的な番号ですので、他では使用しません。(送信側との確認のみに使います。)

7 内線番号を変更します。 元の番号を消去し、新しい呼び出し番号を1～7999の数字で入れます。



受信準備が整い、「受信中」と表示されます。

送信側の操作

受信側の準備の後、1分以内に操作を終えてください。

1 [メニュー]を選択します。 機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



3 <トランシーバ登録>を選択します。



2 <その他>を選択します。



4 「登録」を選択します。



5 「送信」を選択します。



6 受信側と同じ暗証番号を入力します。



7 内線番号を変更します。

元の番号を消去し、新しい呼び出し番号を1～7999の数字で入れます。受信側とは異なる番号にしてください。



「送信中」と表示され送信が始まります。



- 設定以降は、トランシーバモードの呼び出し番号が変更した番号になり、元の番号では呼び出せなくなります。
- 受信側の呼び出し番号を元に戻したい場合は、手順4で「消去」を選択してください。送信側は消去できませんが、再度、変更することはできます。




6

メンテナンス

メニュー機能一覧.....	162
オプション.....	165
オプション紹介.....	165
故障かな?と思ったら.....	166
索引.....	170
仕様.....	173
本体.....	173
充電器.....	173
ACアダプタ.....	173
アフターサービスについて.....	174
保証について.....	174
アフターサービスについて.....	174

メニュー機能一覧

機能はソフトキーの[メニュー]を選択したときに表示されるメニューから選択できます。
機能の中に「機能番号」がついているものは、[メニュー]を選択した後にその数字を入力することによっても、機能を呼び出せます。

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
音/ハイブリータ 	着信音量	[メニュー]+[5画]+[0画]	着信音の音量を設定します。	レベル4	P69
	着信音選択	[メニュー]+[1画]+[3画]	着信音のメロディを設定します。	OS 外線(着信音1) 専用線(着信音5) 内線(着信音2) 公衆(着信音1) TRS(着信音2)	P67
	ハイブリータ設定	[メニュー]+[5画]+[4画]	ハイブリータの設定をします。	OFF /パターン1	P72
	キータッチトーン	[メニュー]+[3画]+[0画]	キータッチトーンをON/OFFします。	ON	P116
	マナーモード選択	[メニュー]+[2画]+[0画]	マナーモードの状態を設定します。	ハイブリータ	P114
	エニーキーアンサ	[メニュー]+[5画]+[8画]	エニーキーアンサをON/OFFします。	ON	P117
	受話音量	[メニュー]+[5画]+[6画]	受話音量を変更します。	レベル4	P65
	電話帳 	電話帳	[メニュー]+[2画]+[2画]	電話帳を参照したり登録します。	
電話帳参照		[画]	電話帳を参照します。	—	P90
新規登録			電話帳を登録します。	なし	P84
電話帳コピー			着信/発信履歴の番号を電話帳にコピーします。	—	P88
電話帳ロック			電話帳をロックします。	いいえ	P119
全削除			電話帳を全削除します。	—	P101
残メモリ量			電話帳に登録できるメモリ残量を表示します。	100%	P87
電話帳表示切替		[メニュー]+[5画]+[2画]	電話帳の表示人数を切り替えます。	1人	P118
時間表示 	通話時間	[メニュー]+[6画]+[6画]	通話時間を表示します。	0秒	P121
	積算時間	[メニュー]+[6画]+[5画]	PHS使用の積算時間を表示します。	0秒	P121
	積算リセット	[メニュー]+[6画]+[0画]	積算時間をリセットします。	—	P121
	通話中時間表示	[メニュー]+[4画]+[8画]	通話中の通話時間表示をON/OFFします。	ON	P120
時計 	スケジュール機能	[メニュー]+[4画]+[5画]	スケジュールを登録します。	なし	P122
	日付時刻設定	[メニュー]+[3画]+[1画]	日付や時刻を設定します。	2010/01/01	P41
	時計表示	[メニュー]+[3画]+[9画]	時計表示をON/OFFします。	ON/日本語	P128

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
着信/発信履歴 	着信履歴	メニュー+ <u>2</u> + <u>4</u>	着信履歴を参照します。	なし	P61 P62
	リダイヤル	<u>☐</u> (クリア)	発信履歴を参照します。	なし	P61 P62
留守録/音声メモ 	録音データ再生	<u>☑</u> (メモ)(長押し)	留守録/音声メモを再生します。	なし	P131 P134
	録音データ消去		留守録/音声メモを消去します。	なし	P134
	待受中音声メモ	メニュー+ <u>4</u> + <u>3</u>	待受時に音声メモを録音します。	なし	P133
	留守録/ドライブ	メニュー+ <u>5</u> + <u>5</u>	留守録/ドライブをON/OFFします。	OFF	P129
	音声メモ ※1		通話中の音声メモを録音します。	なし	P132
セキュリティ 	パスワードロック	メニュー+ <u>☐</u> (長押し)	ボタン操作を制限します。	OFF	P155
	キーロック	<u>◎</u> (長押し)	ボタン操作を無効にする機能をON/OFFします。	OFF	P154
	暗証番号変更	メニュー+ <u>2</u> + <u>9</u>	暗証番号を変更します。	0000	P112
その他 etc.	自局番号表示	メニュー+ <u>0</u>	自局番号を表示します。	—	P37
	発信者番号通知	メニュー+ <u>1</u> + <u>7</u>	発信時の番号通知をON/OFFします。	ON	P39
	液晶濃度調整	メニュー+ <u>5</u> + <u>3</u>	液晶の濃度を調整します。	レベル5	P136
	設定リセット	メニュー+ <u>2</u> + <u>3</u>	設定をご購入時の状態に戻します。	—	P137
	トランシーバ登録	メニュー+ <u>8</u> + <u>2</u>	トランシーバ用の呼出し番号を登録します。	なし	P158
	サブアドレス設定	メニュー+ <u>8</u> + <u>1</u>	サブアドレス発信機能をON/OFFします。	OFF	P138
	外線発信番号登録	メニュー+ <u>8</u> + <u>6</u>	外線番号を登録します。	0	P51
	発信番号登録	メニュー+ <u>8</u> + <u>5</u>	サブアドレスの発信番号を登録します。	なし	P139
	電話帳転送	メニュー+ <u>9</u> + <u>7</u>	電話帳を他の電話機に転送します。	—	P141
	Fキー設定	メニュー+ <u>8</u> + <u>4</u>	F1~F3の3つのキーに任意の番号を登録します。	なし	P143
	クイック機能	メニュー+ <u>7</u> + <u>6</u>	充電器から持ち上げただけで通話できる機能をON/OFFします。	OFF	P150
	エコーサブレス設定	メニュー+ <u>7</u> + <u>7</u>	声の遅れによる共鳴を抑える機能をON/OFFします。	OFF	P151
	モードネーム設定	メニュー+ <u>8</u> + <u>7</u>	モード名を変更します。	公衆、OS1、TRS	P48

- XXX のついている機能は、待受中のみ表示されます。
- XXX のついている機能は、「設定リセット」(→ P137)でご購入時の設定に戻ります。
- 「※1」のついている機能は、通話中のみ表示されます。

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
その他(続き)	ハンドオーバー通知音	メニュー+(9番)+(1番)	ハンドオーバー時に音を鳴らします。	OFF	P152
	登録リセット	メニュー+(9番)+(3番)	登録した内容を消去します。	—	P153
	通話中マナー ※1	#777 (通話中長押し)	通話中のマナーモードをON/OFFします。	OFF	P71

メニュー以外の機能

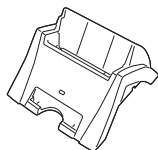
機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
電話帳参照	[☎]	電話帳を参照します。	—	P90-95
マナーモード	#777(長押し)	マナーモードをON/OFFします。	OFF	P71
パスワードロック解除	[1][2][3][4] [5][6][7][8] [9][0][*][#] + [0] (暗証番号)	パスワードロックを解除します。	—	P155
モード切替	[MODE](モード)(長押し)	モードを切り替えます。	公衆	P46
留守録/ドライブ	[RECALL](長押し)	留守録/ドライブをON/OFFします。	OFF	P129
グッドウェーブ機能	[↶](長押し)	基地局に再接続します。	—	P53

- ・XXX _____ のついている機能は、待受中のみ表示されます。
- ・XXX [] のついている機能は、「設定リセット」(→ P137)でご購入時の設定に戻ります。
- ・「※1」のついている機能は、通話中のみ表示されます。

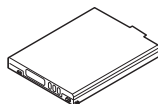
オプション

◆オプション紹介

本電話機のオプションとしては、次の製品が用意されています。
オプションについては、販売店等へお問い合わせください。



◆充電器



◆電池パック

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら時は、修理に出す前に次の点を確認してください。

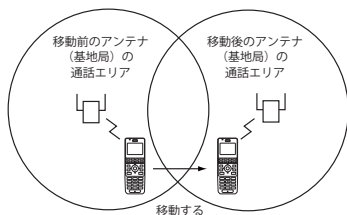
こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所コードレスシステムモード	公衆モード	トランシーバモード		
動作しない	電話機の電源が「切」になっている	○	○	○	電源を入れてください	P35
	電池パックが正しく入れられていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P28
	電話機の電池が消耗している	○	○	○	電池パックを交換してください	P28
	電話機がオフィスの接続装置等やPHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P53
	接続装置等のコンセントが外れている	○	—	—	コンセントを正しく差し込んでください	—
	停電のため	○	—	—	故障ではありません	—
	接続装置等の電源コードが傷んでいる	○	—	—	販売店へご相談ください	—
電話をかけられない	電話機の電源が「切」になっている	○	○	○	電源を入れてください	P35
	モードの設定が異なっている	○	○	○	モードを確認してください	P45
	他の電話機を使っている	○	—	—	他の電話機のお話が終わるまでお待ちください	—
	接続装置等の電話機コードが外れている	○	—	—	電話機コードを正しく接続してください	—
	電話機がオフィスの接続装置等やPHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P53
	キーロックが設定されている	○	○	○	キーロックを解除してください	P154
	パスワードロックが設定されている	○	○	○	パスワードロックを解除してください	P155
	接続装置等の電話回線の設定が正しくない	○	—	—	お使いの電話回線にあわせて正しく設定してください	—
電話帳から発信できない	PHSサービスを利用しているとき、市外局番からダイヤルされていない	—	○	—	市外局番からダイヤルしてください	P54
	電話帳ロックが設定されている	○	○	○	電話帳ロックを解除してください	P119

こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所 コードレス システム モード	公衆 モード	トラン シーバ モード		
着信音が鳴らない バイブレータが振動しない	モードの設定が異なっている	○	○	○	モードを確認してください	P45
	着信音量が「サイレント」になっている	○	○	○	着信音量を「サイレント」以外にしてください	P69
	バイブレータ設定が「OFF」になっている	○	○	○	バイブレータ設定を「ON」にしてください	P72
	電池の残量がなくなりかけている	○	○	○	充電してください	P32
	電話機の電源が「切」になっている	○	○	○	電源を入れてください	P35
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	○	○	○	家電製品などから離してください	—
	電話機がオフィスの接続装置等やPHSサービス公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P53
	通話を切っていない	○	○	○	電話機を充電器に置かず、  を押してください	P55
通話中に雑音が入ったり、お話しが途切れる	電話機がオフィスの接続装置等やPHSサービス公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P53
	電波の弱いところにいる	○	○	—	電波の強いところに移動してください	P53
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	○	○	○	家電製品などから離してください	—
	接続装置等のアンテナを立てていない	○	—	—	アンテナを立ててください	—
	電話機とオフィスの接続装置等やPHSサービス公衆基地局との間に障害物がある	○	○	—	場所を変えてお話ししてみてください	—
	トランシーバ通話のため	—	—	○	トランシーバ通話では約3分ごとに通話が切れますが、再びつながります	P157

こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所 コードレス システム モード	公衆 モード	トラ ンシーバ モード		
相手の方の 声 が 小 さ い、大 き すぎ、ま だ は び す び	電話音量の設定があっていない	○	○	○	受話音量を切り替えてください	P65-66
無線機の音 が 混 信 して 聞 こえる	近くに無線機がある	○	○	○	場所を変えてお話ししてみてください	—
お話し中に 警 告 音 が 聞 こえる	電池の残量がなくなりかけている	○	○	○	すみやかにお話を終わらせて、充電してください	P32
充電器に置 いても充 電ランプが 点灯しない	充電器のコンセントが外れている	○	○	○	コンセントを正しく差し込んでください	P32
	充電端子が汚れている	○	○	○	乾いた布で清掃してください	—
	充電器に正しく差し込まれていない	○	○	○	充電器に正しく差し込んでください	P32
	電池パックが正しく入っていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P28
	電源コードが傷んでいる	○	○	○	電源をコンセントから抜いて販売店へご相談ください	—
3時間以上 充電しても すぐに使 えなくなる	充電器に正しく差し込まれていない	○	○	○	充電器に正しく差し込んでください	P32
	電池パックが正しく入っていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P28
	電池が消耗している	○	○	○	電池パックを交換してください	P28
触るとあ ただかい	充電されたため	○	○	○	故障ではありません	—
通話中に相 手の声 が 小 さく なる	受話口は非常に小さいので耳に強く押しつけると受話口をふさいでしまうことがあります	○	○	○	電話機を少しずらしてみるか耳から少しだけ浮かせてみてください	P169
通話中に相 手の声 が 突 然 聞 こえな くなる	通話中にアンテナ(基地局)が切り替わる時には一時間聞こえなくなります	○	○	—	通話したままでお待ちいただくアンテナ(基地局)が切り替わり通話できるようになります	P152

■ 通話中、相手の方の声が突然聞こえなくなる。 (または「プッププッ」と鳴る)

電話機(子機)は、アンテナ(基地局)と、電波を送受信して通話します。一つのアンテナで通話できるエリアは限られているため、話しながら移動してエリアの外に出た場合や、障害物の影に入った場合、電波の状態が悪くなり、電話機の接続を別アンテナに切り替えます。また、移動していない場合でも、たまたま遠くにあるアンテナを使用していた場合などは、電波の伝わり方が悪くなると、同じように別アンテナに切り替えます。通常はスムーズに切り替わりますが、使用環境などの条件により、切り替えに時間がかかることがあります。この間、通話が無音状態になります。



通話中、相手の方の声が突然聞こえなくなっても、そのままお待ちいただきますと、アンテナが切り替わり相手の方と通話できるようになります。

■ 通話中、相手の方の声が小さくなる。

電話機の受話口は非常に小さいので、耳に強く押しついたり、耳の穴(外耳道)からずれると、耳(耳殻)でふさいでしまう場合があります。特に、遠くの方と電話している時には、相手の方の声をよく聞きたいため、無意識のうちに強く受話口を押しつけて受話口をふさいでしまいます。



通話中に相手の方の声が小さくなったら、電話機を当てる位置をずらしたり、耳から少し浮かせてみてください。受話口が開いて、相手の方の声が良く聞こえるようになります。

索引

数字

1件削除 電話帳	99
-------------	----

アルファベット

ACアダプタ	22,173
Fキー設定	163
OS (事業所コードレスシステムモード)	44,45,49
PBX機能	104,106
PHSサービス (公衆)	44,45
TRS (トランシーバ)	45
USB端子	24
VoiceMail連動	107

五十音

●ア

アイコン	
ディスプレイ	26
電話帳	86
アイコン検索	
電話帳	94
アフターサービス	174
アラーム	24
暗証番号変更	112,163
安全上のご注意	3
一覧表示	
電話帳	90
イヤホンマイク差込口	24
ウェイト	25,106
液晶ディスプレイ	23
液晶ディスプレイの見方	24
液晶濃度調整	136,163
エコーサプレス	151,163
エコーキーアンサ	117,162
音/バイプレータ	114,162
音/バイプレータ機能	114
オフィスで使う	49
オプション	165
音声メモ	132,163
音量 (着信)	69

●カ

会議	25,106
外線発信番号登録	51,163
外線発信番号付加	50,156
変える	
受話音量	65

着信音	67
着信音量	69
メロディ	67
確認	
スケジュール	124
電波状態	53
モード	53
各部の名称	23
かけ直す	61
カタカナ・英字入力	79
漢字・ひらがな入力	76
キータッチトーン	116,162
キーロック	154,163
聞き取り	25,106
機能	110
機能キー	23
客室状態	25,106
キャンプ	25,106
切り替え	
モード	46
禁止/拒否機能	154
クイック機能	150,163
グッドウェーブ機能	53,164
グルーピング	107
圏外転送	25,106
検索	
電話帳	92,94
交換	
電池パック	28
公衆 (PHSサービス)	44,45
故障かな?と思ったら	166
コピー	
電話帳	88

●サ

再生	
音声メモ	134
留守録	131
録音データ	163
サイレント (無音)	69,71,114
削除	
文字	80
サブアドレス入替	140
サブアドレス設定	138,163
シェア	25,106
時間表示機能	120,162
事業所コードレスシステムモード (OS)	44,45,49
自局番号表示	37,163
質量	173
修正	
電話帳	96
充電	32
充電器	33,34,165
充電時間	32,33,34

充電ランプ	32,33	転送先不在	25,106
寿命		電池カバー	28
電池パック	30	電池残量	36
受話音量	25,66,106,162	電池パック	22,165
受話口	23,169	電波状態の確認	53
消去		電話機	22
留守録/音声メモ	134	電話帳	162
録音データ	163	電話帳機能	118,162
使用時間		電話帳コピー	88
電池	31	電話帳転送	141,163
新規登録		電話帳登録	84,162
電話帳	84	電話帳表示切替	118,162
シングルモード	45	電話帳ボタン	23
スケジュール機能	122,162	電話帳ロック	119,162
寸法	173	電話番号機能	37
積算時間	121,162	電話を受ける	57
積算リセット	121,162	電話をかける	53,54
セキュリティ機能	163	電話帳	90
接続先一時変更	47	登録	
設定リセット	137,163	外線発信番号	51
セット		スケジュール	122
電池パック	28	電話帳	84
セットの確認	22	登録リセット	153,164
全削除		特殊な文字	78
電話帳	101	特長	20
選択		時計機能	122,162
モード	45,46	時計設定	41
選択ボタン	23,104	時計表示	128,162
挿入		トランシーバ (TRS)	45,157
文字	81	トランシーバ登録	158,163
送話口	23	取り扱い	
その他の機能	136,163	ACアダプタ	9
ソフトキー	104,106	充電器	49
ソフトキー切替ボタン	23,104	電池パック	4,7
		本電話機	45
		取扱説明書の構成	12
		取扱説明書の見方	12
タ		ナ	
ダイヤルボタン	23	内線	
着信 (電話を受ける)	57	OS	49
着信/充電ランプ	24	名前変更	
着信/発信履歴機能	62,163	電話帳	96
着信音選択	67,162	入力モード	
着信音量	69,162	文字	74
着信拒否	25,106	ハ	
着信制限	25,106	パーク	25,106
着信番号	61	バイプレータ	114
着信履歴	61,62,163	バイプレータ設定	72,162
追加		パスワードロック	155,163
スケジュール	122	発信 (電話をかける)	53
通知		発信者番号通知	39,163
発信者番号	39	発信制限	25,106
通話	54	発信番号	61
通話時間	55,121,162	発信番号登録	139,163
通話中時間表示	120,162	発信番号付加機能	156
通話ボタン	23	発信履歴	62
通話録音	25,106		
デュアルモード	45		
電源	35		
電源/切ボタン	23		
転送/キャンブオン	107		

番号削除	
電話帳	100
番号追加	
電話帳	97
番号通知機能	39
番号変更	
電話帳	98
ハンドオーバー通知音	152,164
ハンドストラップ取り付け穴	24
ピック	25,106
日付時刻設定	41,162
表示	
自局番号	37
表示切替	
電話帳	118
表示濃度	
液晶	136
不応答転送	25,106
不在転送	25,106
フリガナ検索	
電話帳	92
フレキシブルキー	23
ページの構成	13
変更	
暗証番号	112
時計表示	128
編集	
スケジュール	126
ポーズ	55
ボタン	13
ボタン操作の機能	154
ホテル機能	107
保留/モードボタン	23
保留転送	
OS	50

マ

待受中音声メモ	133,163
マナーボタン	23
マナーモード	71,164
マナーモード選択	114,162
無音	69
メインメニュー	110
メニュー	25,106
メニュー機能一覧	162
メモ/文字ボタン	23
メロディ	67
モード	44
モード切り替え	46,164
モードネーム設定	48,163
モードの確認	53
モード名変更	48
文字入力	74
文字の削除	80
文字の挿入	81

ヤ

優先モード	45
-------	----

ラ

ランプ表示	24
リダイヤル	61,62,163
履歴	
着信番号	62
発信番号	62
履歴/クリアボタン	23
留守録/音声メモ機能	129,163
留守録/ドライブ	129,163,164
留守録/ドライブボタン	23
連続通話時間	31
連続待受時間	31
ローミング	108
録音	
音声メモ	132
録音転送	25,106
ロック	
電話帳	119
ボタン操作	155

ワ

話中転送	25,106
割り込み	25,106,107
割込拒否	25,106

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

◆ 本体

寸法	約48mm(幅)×約17.8mm(奥行)×約135mm(高さ)
質量	約95g (電池パック含む)
使用電池	専用リチウムイオン電池 DC3.7V-920mAh 3.4Wh
充電完了時間	約3時間
連続通話時間 (25℃常温にて)	約6時間
連続待受時間(※) (25℃常温にて)	約500時間 (事業所コードレスシステムモード/公衆モード)

(※) 連続待受時間とは、充電完了後、電話機を充電器に置かずに、一度も通話や設定操作をしない状態のときの時間です。
通話したり、着信音が鳴ったりすると連続待受時間は短くなります。

◆ 充電器

寸法	約71mm(幅)×約84mm(奥行)×51mm(高さ)
質量	約50g
使用電源	入力:AC100V 50/60Hz

◆ ACアダプタ

寸法	約58mm(幅)×約26mm(奥行)×45.4mm(高さ) ケーブル部分を含まず
質量	約63g
使用電源	入力:AC100V 50/60Hz 5VA

(※) 表内の数値はあくまでも目安であり、使用条件によって若干異なります。

アフターサービスについて

◆保証について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

◆アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくなりませんときは、販売店にご相談ください。

保障期間中は

修理いたします。

* 保証期間中でも、水濡れ・結露等による腐食が発見された場合および内部の基板が破損・変形している場合は修理できません。

保障期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

本電話機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、販売店等へお問い合わせください。

お願い

- 本電話機および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造(部品の交換・改造・塗装など)が施された場合は、改造部分を元の状態(純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
 - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本電話機に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

電子情報の消去および各種機能の「ON/OFF」情報のリセットについて

- お客様または第三者などが本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのとき、まれに記憶内容が変化、消失することがあります。重要な内容は必ず控えておいてください。記憶内容が変化、消失したことによる損害などについては、当社に重大な過失、故意がない限り当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 各種機能の「ON/OFF」の情報は、本電話機の故障・修理・電話機などの変更やその他の取り扱いによって、リセット(クリア)される場合がありますが、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いいたします。



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 25 rows of evenly spaced dots.



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 25 rows.



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 25 rows.

警 告

本製品は外国為替及び外国貿易管理法の規定により規制貨物等(又は役務)に該当する場合がありますので、日本国外に輸出する場合には同法に基づき日本政府の輸出許可の確認が必要です。

使い方等でご不明の点がございましたら、販売店等へお気軽にご相談ください。

MITSUBISHI | 三菱電機システムサービス株式会社

2011.01(2版)
NWD-111615-001